

# MOENART

---

## 施工資料

---

**モエンアート** | マスターシリーズ・35mm 3

---

**モエンアート** | 内壁施工 33

---

**モエンアート** | ウォールアクセサリー 37

---

本カタログ掲載の設計施工資料は 2022 年 8 月時点のものです。  
記載する「納まり詳細図」などは、あくまで基本的な施工一例を  
示したもので、最新の知見や検証結果に基づき、予告なく記載内  
容が変更となる場合があります。

# 1 モエンアートマスターシリーズ・ モエンアート35mm品 標準施工法

1- 1	モエンアート適用下地材について
1- 2	基本構成図
1- 3	施工手順
1- 4	注意事項
1- 5	禁止事項
1- 6	割り付け
1- 7	スターターの取り付け
1- 8	金具の留付位置
1- 9	留付位置
1-10	開口部
1-11	切断について
1-12	保管・取り扱い・運搬上の注意事項
1-13	各部の納まり詳細図 木造軸組下地
1-14	各部の納まり詳細図 鉄骨下地

本章では、モエンアートマスターシリーズおよびモエンアート35mm品を合わせて「モエンアート」と表現しております。

# 1 モエンアート標準施工法

## 1-1 モエンアート適用下地材について

モエンアートは必ず以下の下地材が必要です。

### ■専用下地材

- アート下地材14:14mm厚品(木造下地釘打ち施工用)
- アート下地材16:16mm厚品(木造下地・鉄骨下地金具施工用)
- ※鉄骨下地は原則通気金具施工。
- ※木造胴縁下地への留付金具・通気金具は専用ビス(JK1151)で留め付けます。
- ※高さ:16m以下。

### ■アクセント装飾として部分施工する場合に使用できるサイディング

下表のニチハ推奨サイディングも下地材として使用できます。プレーンな柄の外壁材と組み合わせ、専用下地材を使うことなく、アクセント装飾にすることも可能です。

<適用条件>

- 14mm、16mm厚の下表推奨柄塗装品に限定。
- 14mm厚釘打ち施工品は、455mm幅品は横張り、910・1000mm幅品は縦張り施工。(木造下地)
- 16mm厚金具施工(木造下地)、通気金具施工(鉄骨下地)は横張り施工。
- ※鉄骨下地は原則通気金具施工。
- ※木造胴縁下地への留付金具・通気金具は専用ビス(JK1151)で留め付けます。
- ※高さ:3m以下。

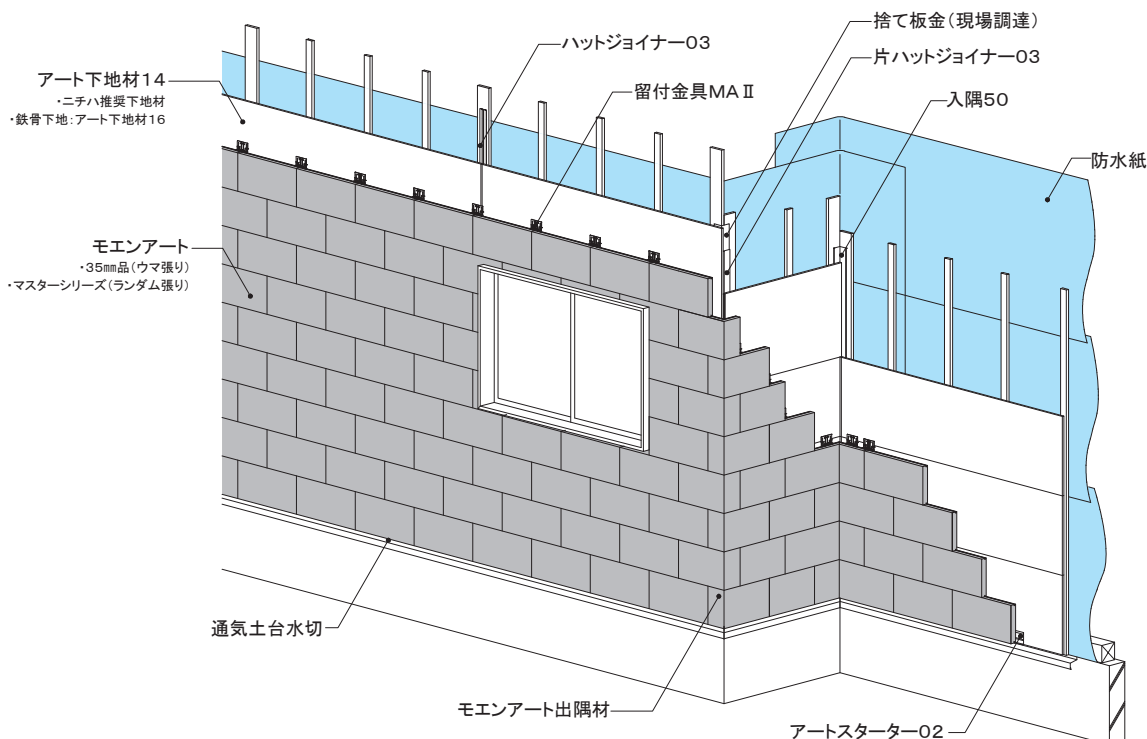
<推奨柄一覧表>

商品名	柄名
モエンサイディングW 14mm厚品	シャトーウォール調
	サンディーライン調
	木目調、木目調(ツートーン)
	スタッコ調
	杉板目調
モエンサイディング-M 14mm厚品	シャトーウォール調
	スタッコウォール調
	コンクリート打ちっ放し
	木目調
モエンエクセラード 16mm厚品	ニューシャトーウォール調
	ヴィンテージウッド
	フラットウォール
	コンクリート打ちっ放し16
	マイスターウッド調

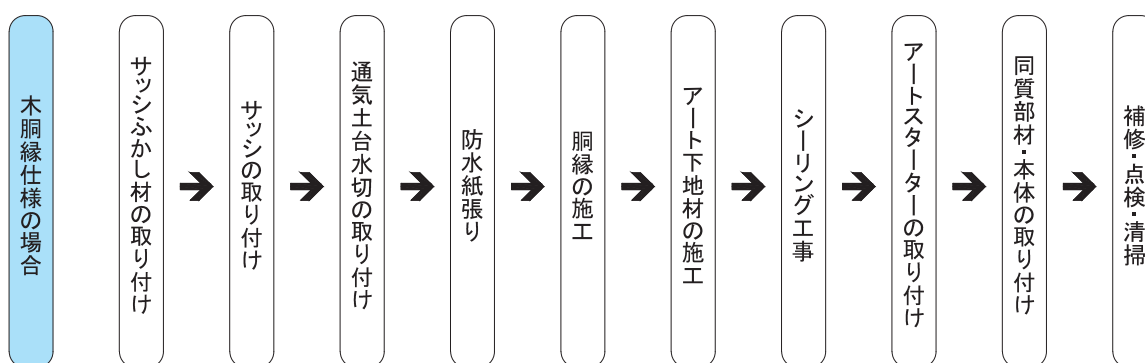
※品番につきましては、最新版の弊社内外装建材総合カタログをご参照ください。

# 1 モエンアート標準施工法

## 1-2 基本構成図



## 1-3 施工手順



## 1-4 注意事項

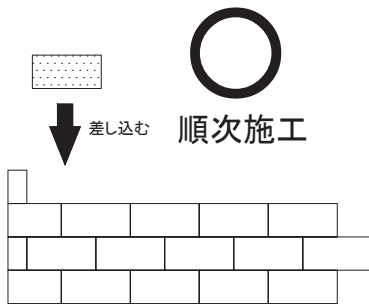
- モエンアートを施工する際は、下辺に金具全体のツメがしっかりとかかっていることを確認します。
- 内壁材として使用する場合の下地材は、合板厚み9mm以上を使用します。また、内装制限などの防耐火上の規制がある場合はアート下地材を使用します。
- モエンアートの表面にインターホンなどを取り付ける場合は、モエンアートの表面をグラインダーなどで下地調整した後、必ず別売りの補修用アートペンを塗布して、モエンアートを介して柱・間柱などの躯体に取り付けます。
- アート専用ビスの留め付けに失敗した場合、金具の位置を左右どちらかにずらして再度留め付けます。また、失敗した無駄孔は、ニチハ補修用パテ(FC5000)を使用し、孔埋めを行なってください。

# 1 モエンアート標準施工法

## 1-5 禁止事項

モエンアートは、外・内壁材として設計されています。これら以外の用途には使用しないでください。

- モエンアートを施工する際は、専用下地材またはニチハ推奨下地材以外を使用しないでください。モエンアートの下地材は、アート下地材14・16(WNX191・ENX101NK)、またはニチハ推奨下地材(P55参照)を使用し、その下地材にモエンアートを専用金具を用いてビス留めします。下地材の施工については、使用する各基材の禁止事項を厳守してください。
- 風呂場など、常時湿度が高い所への施工はできません。
- 高温な物体(気体を含む)が、直接モエンアートおよびアート下地材に接する施工はできません。



モエンアートがしっかりと金具に固定されていることを確認しながら施工ができます。

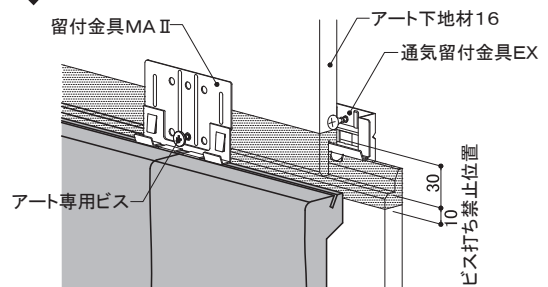
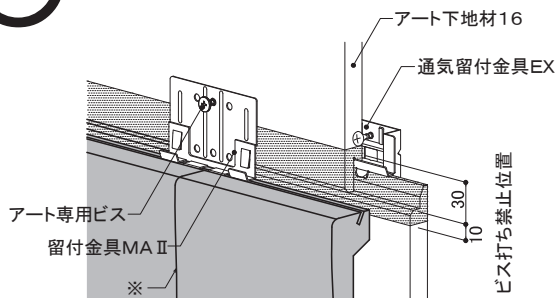
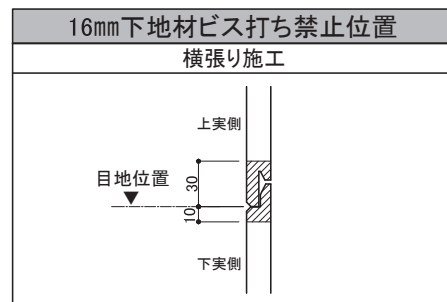
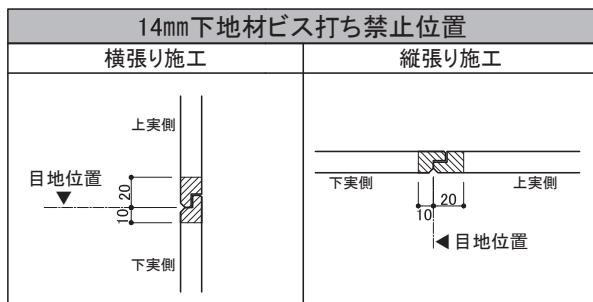


モエンアートを横から差し込むことは難しく、金具で3点留めできません。



モエンアートを横から差し込む部分が発生しないよう、出隅部、入隅部およびボーダー部を先行して張り上げないでください。モエンアートが脱落するおそれがあります。(隣合う面材とともに1段ずつ順に施工してください。)

- 14mm品下地材実接合部の目地から上実側20mm以下、下実側10mm以下の位置へのビス留めは避けます。16mm品下地材の場合は、目地から上実側30mm以下、下実側10mm以下の位置へのビス留めは避けます。(ビス打ち禁止位置を避けた留付金具MAⅡのビス孔に、留め付けます。)
- 留付金具MAⅡは、必ずアート専用ビスで留め付けます。(釘留め不可)

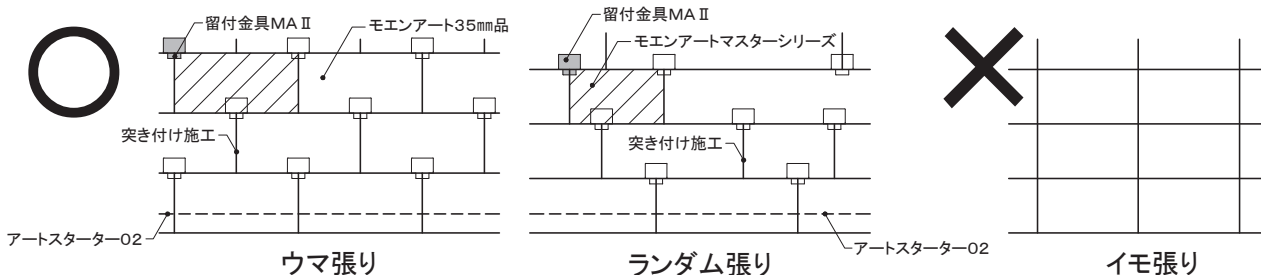


※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

# 1 モエンアート標準施工法

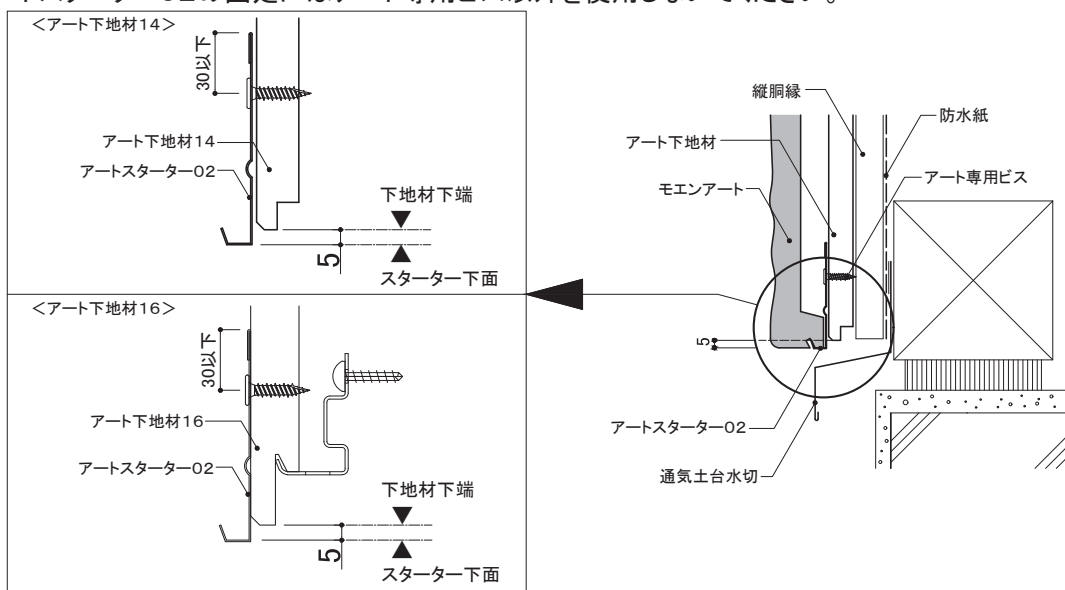
## 1-6 割り付け

- モエンアート35mm品はウマ張り施工、モエンアートマスターシリーズはランダム張り施工をし、左右接合部は突き付けて施工します。
- ※極端に小さな切断材が出ないように事前に割り付けを行うことが重要です。
- ※イモ張りは禁止です。



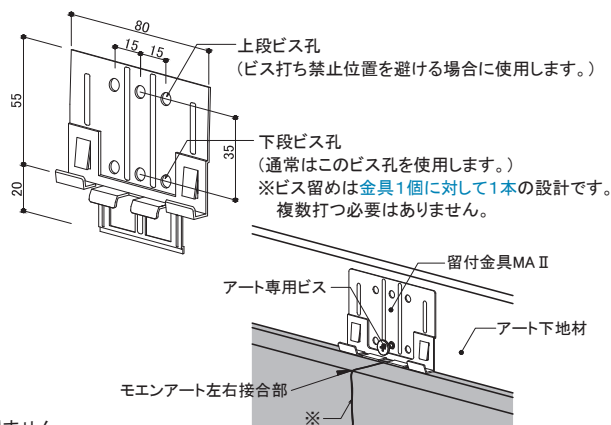
## 1-7 スターターの取り付け

- アートスターター02はアート下地材(14mm・16mm)下端から5mm下げた位置に取り付けます。
- アートスターター02はアート専用ビスを用い、縦胴縁がある部分に500mm以下の間隔で留め付けます。(アート下地材16の通気金具施工の場合は300mm以下の間隔で留め付けます。)
- アートスターター02の固定にはアート専用ビス以外を使用しないでください。



## 1-8 金具の留付位置

- 留付金具MA IIの下段ビス孔と下地材へのビス打ち禁止位置が重なってしまう場合は、上段ビス孔を使用して禁止位置へのビス打ちを避けます。
- モエンアートの留め付けは、留付金具MA II (JE602)を右図のように指定の位置に留め付けます。留付ビスは、別売のアート専用ビス (JK1605、JK1605S)を必ず使用します。
- ※釘留めでは、保持力が不足します。釘の使用は禁止です。



※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

# 1 モエンアート標準施工法

## 1-9 留付位置 1) 本体

### ①モエンアート35mm品

●モエンアート35mm品真物の留め付けは、下図のように上辺の左右端部で各1ヶ所、下辺中央部で1ヶ所の計3ヶ所での金具留めが基本です。金具のツメがしっかりとモエンアート35mm品の実にかかっていることを確認しながら施工します。また、割り付け上切断材が入る場合も、上辺の左右端部で各1ヶ所、下辺中央部で1ヶ所の計3ヶ所留めをします。

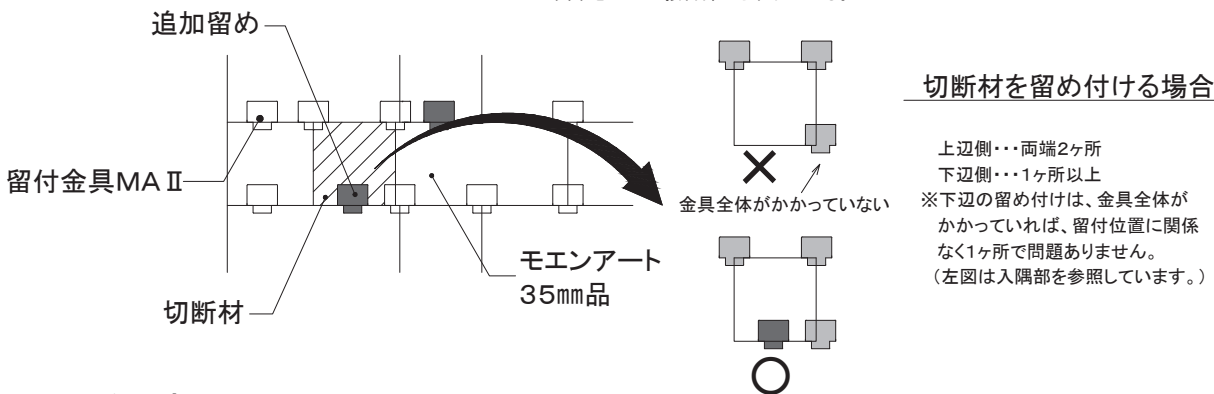
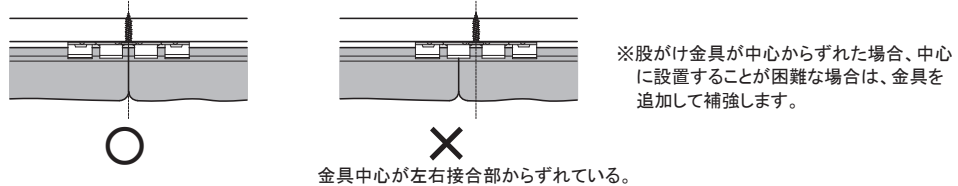
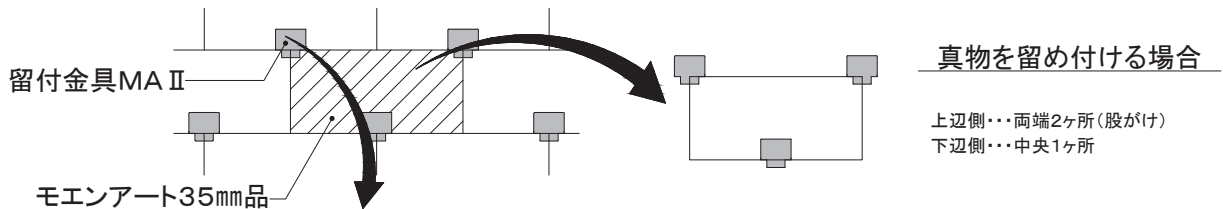
※股がけの留付金具はモエンアート35mm品左右接合部と中心を合わせて設置します。

金具のツメが左右実部それぞれにかかっていることを確認しながら施工します。

※モエンアート35mm品下辺の固定金具は、金具全体がかかるようにします。

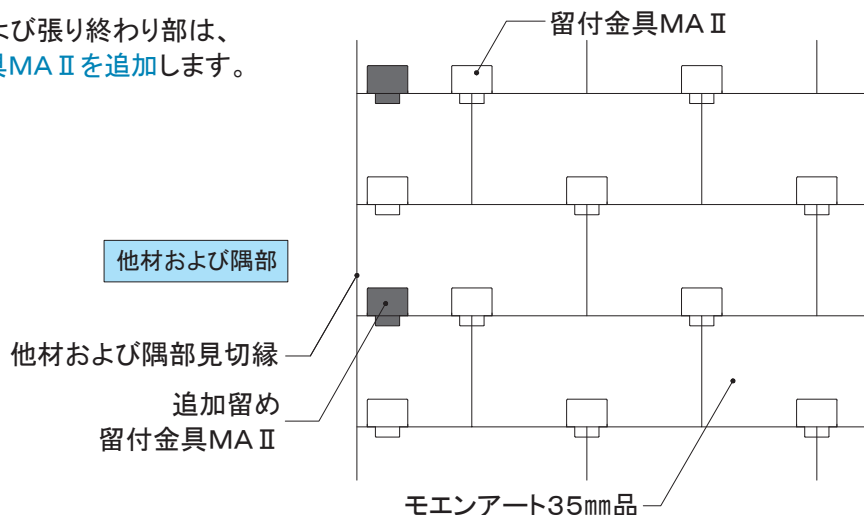
万一、金具全体がかからない場合は、留付金具MA IIを追加します。

**警告** モエンアート35mm品下辺が金具で確実に固定されていないと、モエンアートが脱落するおそれがあります。



### <取り合い部>

●他材との取り合い部および張り終わり部は、右図のように、留付金具MA IIを追加します。ポーター材も同様です。





# 1 モエンアート標準施工法

## 1-9 留付位置 1) 本体

### ②モエンアートマスターシリーズ

- 全サイズのモエンアートマスターシリーズ真物において、下図のように上辺の左右端部で各1ヶ所、下辺で1ヶ所の計3ヶ所での金具留めが基本です。金具のツメがしっかりとモエンアートマスターシリーズの実にかかっていることを確認しながら施工してください。

施工手順としては、上辺の左右端部を隣り合う面材と股がけで金具固定していくことが基本ですが、下辺に金具がない場合は、追加金具を入れてください。

※股がけの留付金具はモエンアートマスターシリーズ左右接合部と中心を合わせて設置してください。

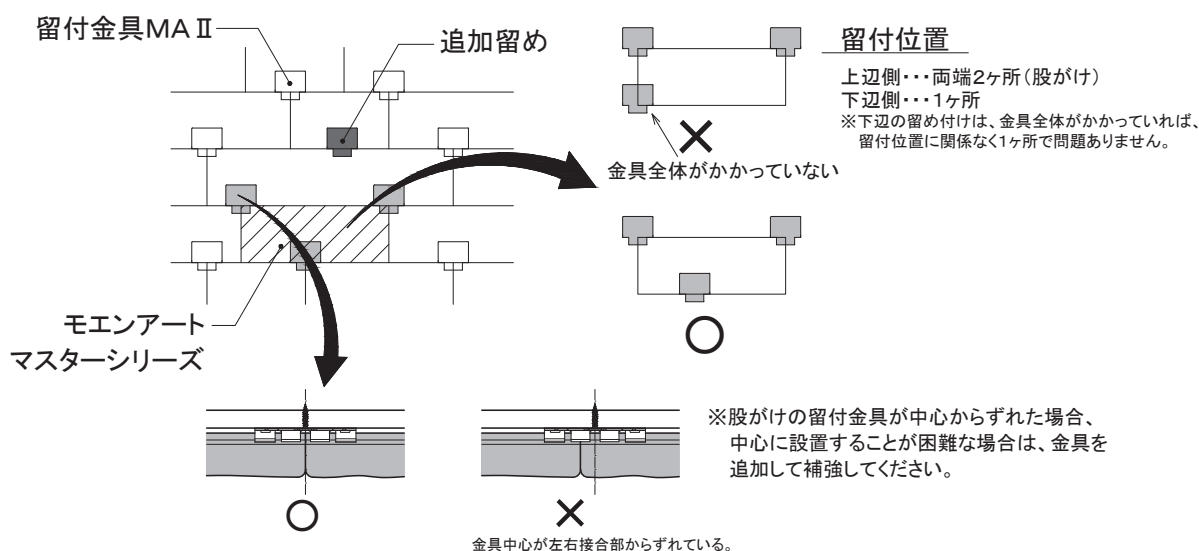
金具のツメが左右実部それぞれにかかっていることを確認しながら施工してください。

※モエンアートマスターシリーズ下辺の固定金具は、金具全体がかかるようにしてください。

万一、金具全体がかからない場合は、留付金具MA IIを追加してください。

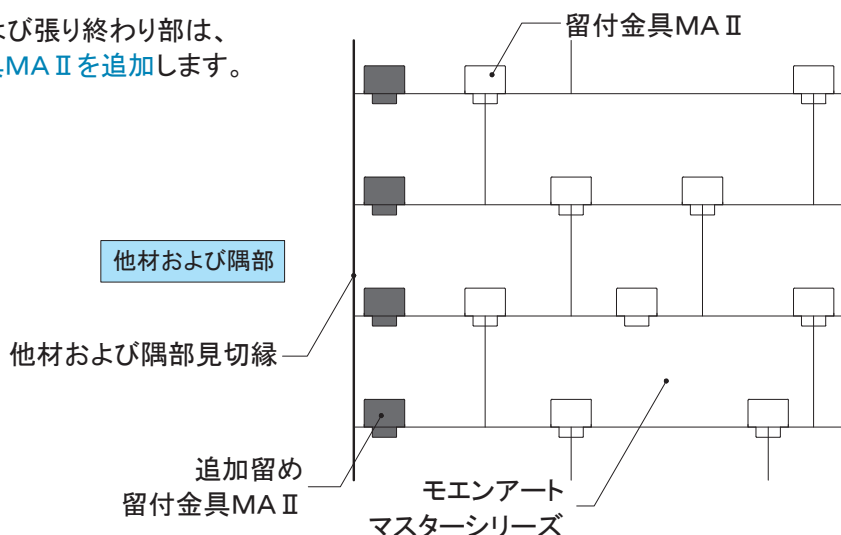


**警告** モエンアートマスターシリーズ下辺が金具で確実に固定されていないと、モエンアートマスターシリーズが脱落するおそれがあります。



### <取り合い部>

- 他材との取り合い部および張り終わり部は、右図のように、留付金具MA IIを追加します。ボーダー材も同様です。

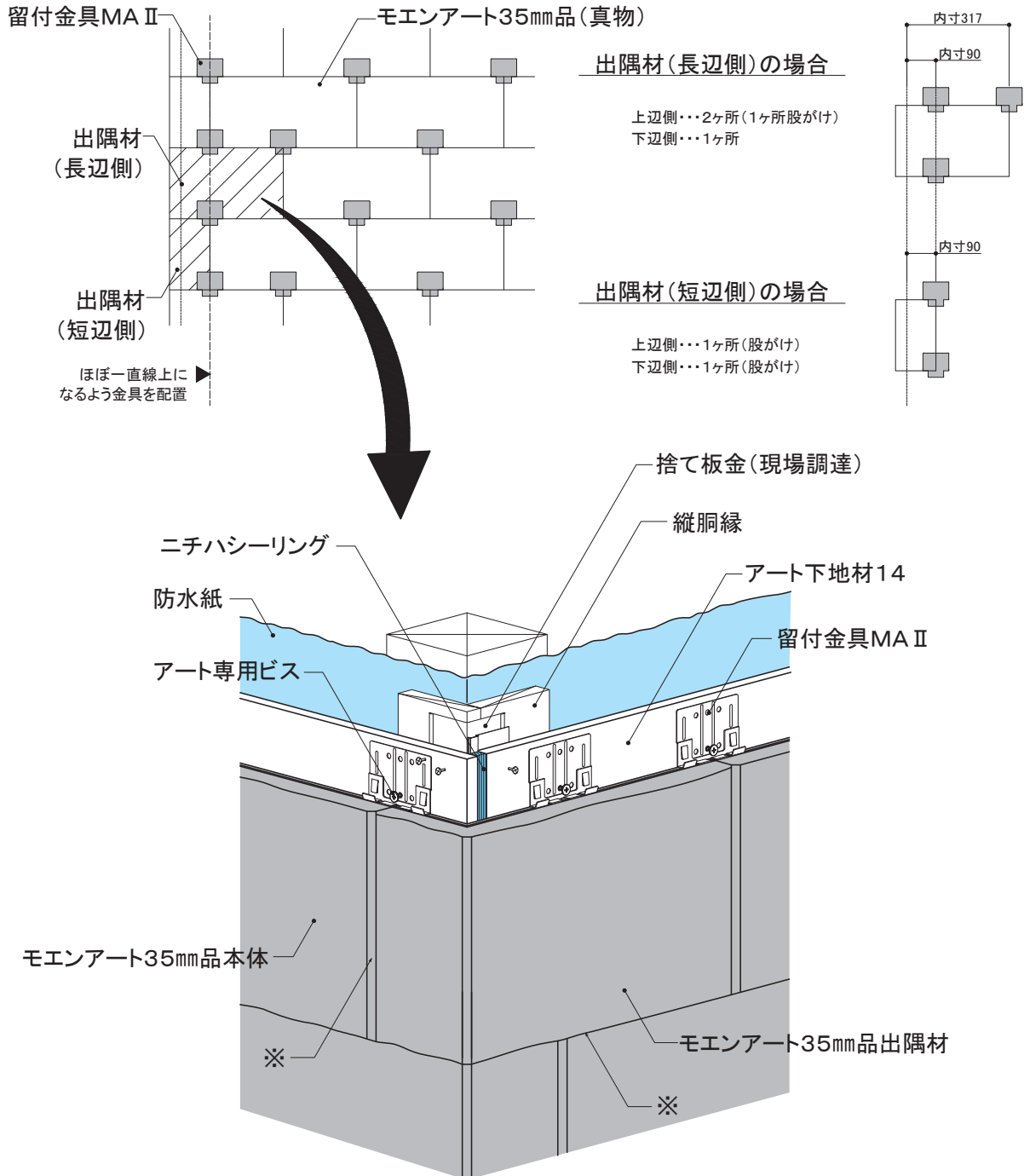


# 1 モエンアート標準施工法

## 1-9 留付位置 2) 出隅材

### ①アート35mm品

- 基本的には出隅材を切断せずに納められるよう、割り付けを事前に行います。
- 出隅材を先行して張り上げず、1段ずつ施工します。
- 出隅材短辺側は隣り合う面と股がけになるよう、留付金具MA IIを入れます。
- 出隅材長辺側は短辺側と同じ位置に留付金具MA IIを入れます。位置がずれると上側に施工する出隅材短辺側の下端が留まらない危険があります。



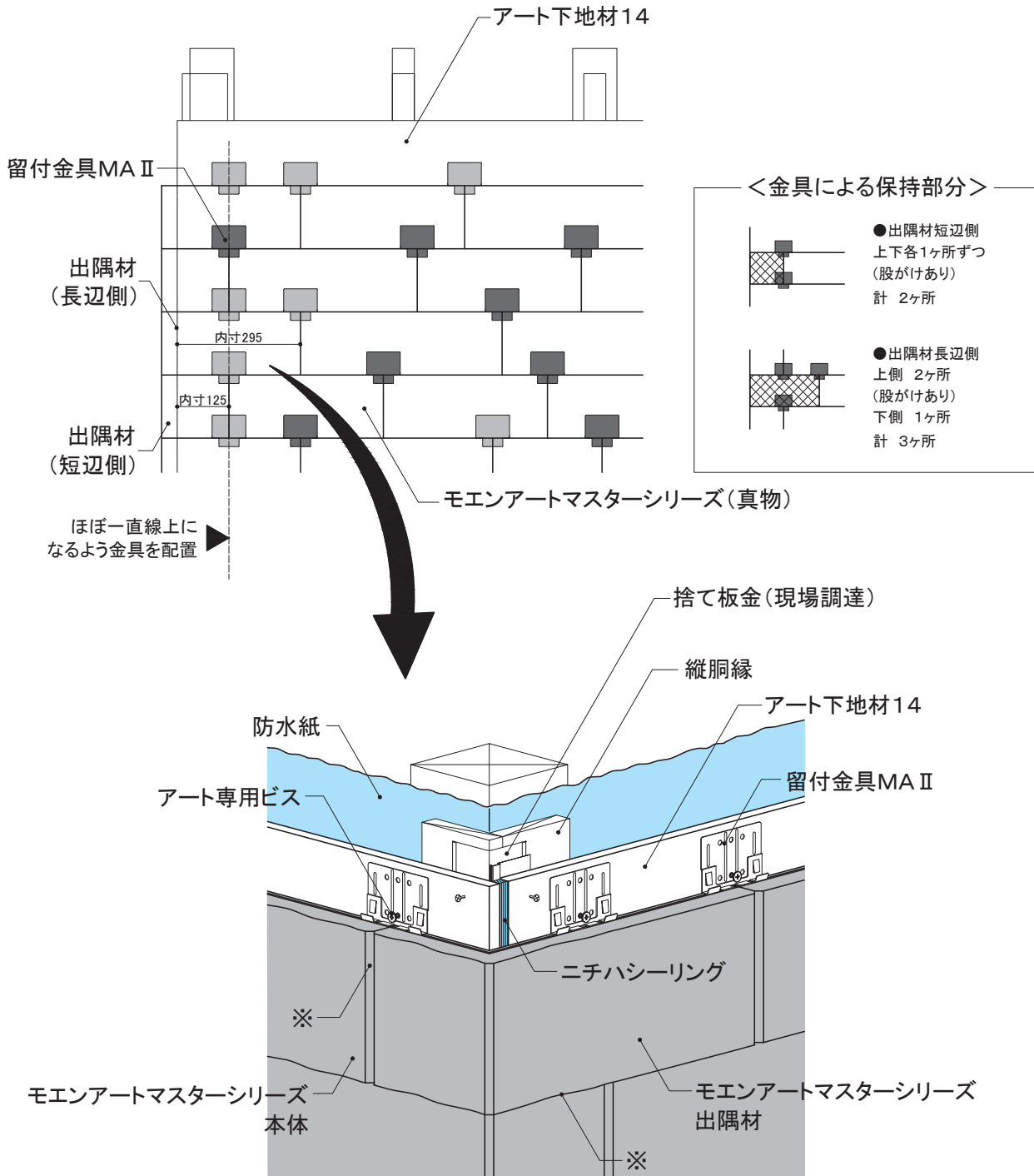
※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

# 1 モエンアート標準施工法

## 1-9 留付位置 2) 出隅材

### ②モエンアートマスターシリーズ

- 基本的には出隅材を切断せずに納められるよう、割り付けを事前に行ってください。
- 出隅材を先行して張り上げず**、面材と合わせて1段ずつ施工してください。
- 出隅材短辺側は隣合う面と股がけになるよう留付金具MAⅡを入れてください。
- 出隅材長辺側は短辺側と同じ位置に留付金具MAⅡを入れてください。位置がずれると上側に施工する出隅短辺側の下端が留まらない危険があります。

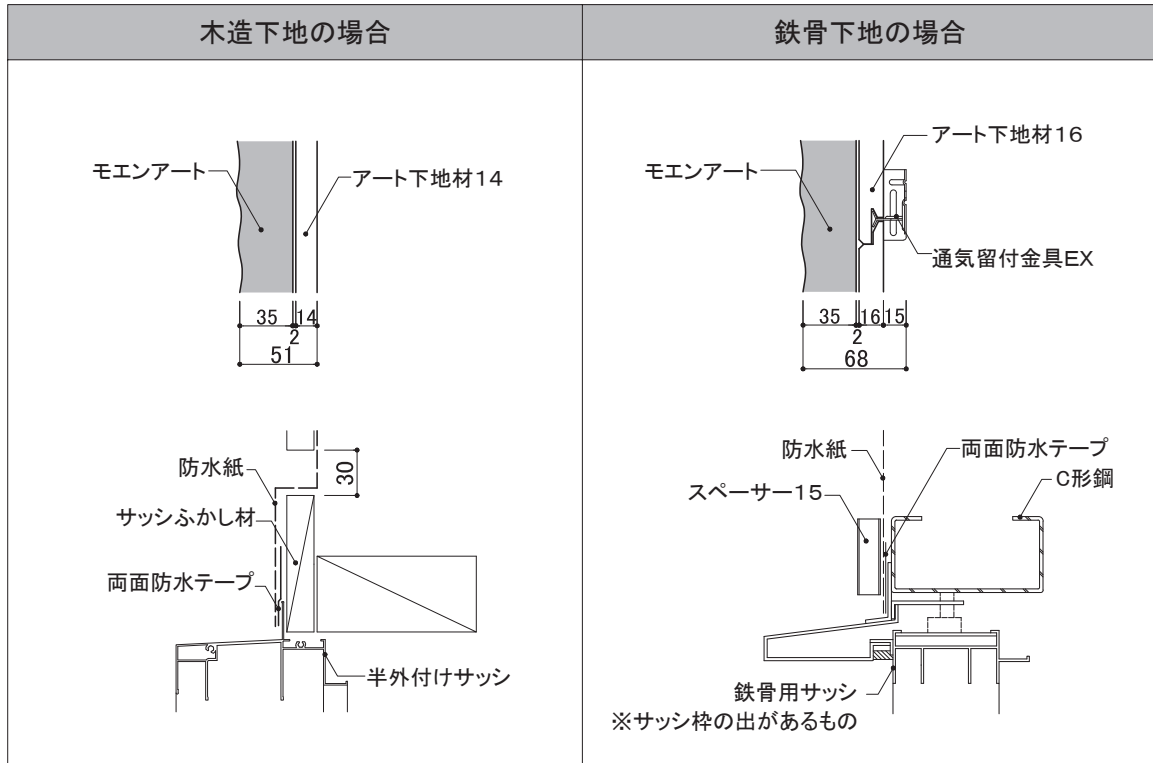


※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能及び止水性能には問題ありません。

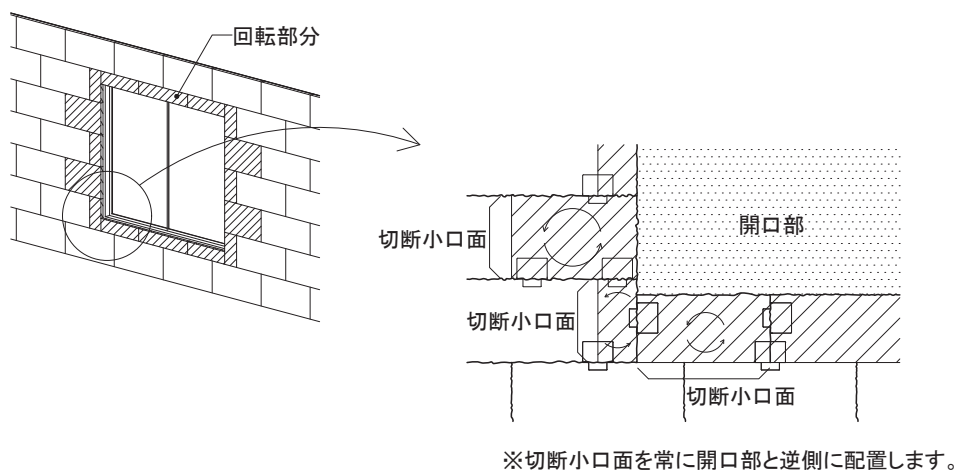
# 1 モエンアート標準施工法

## 1-10 開口部

- サッシは、外付けサッシまたは半外付けサッシを使用し、開口部まわりの胴縁組み(木胴縁下地・鉄骨下地)の施工後に取り付けます。(現場で納まり上不可能な場合は、サッシ業者へ額縁の取り付けを依頼します。額縁の見込み代はモエンアートの寸法+5mm以上とします。)



- サッシの出が少なく、モエンアートの外壁面よりサッシが内側に入る場合、通常の施工では開口部まわりのモエンアートの切断小口があらわしになります。この場合、開口部まわりで切断したものを180°回転させ、切断小口面が接合部側になるよう施工します。(アート本体の小口面には金具用の実を施しています。サッシの出寸法によっては実が見える場合もありますので、その際は額縁などをご検討ください。)



# 1 モエンアート標準施工法

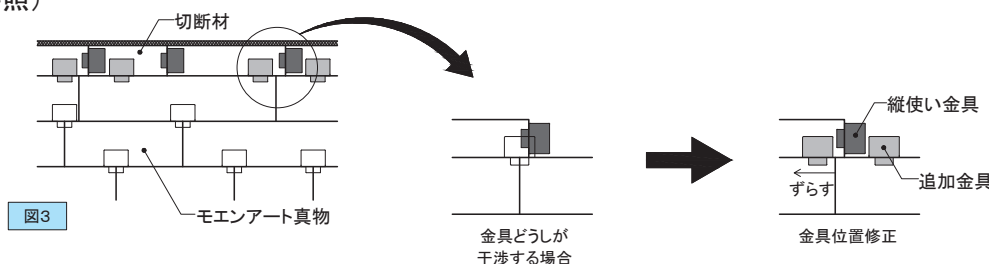
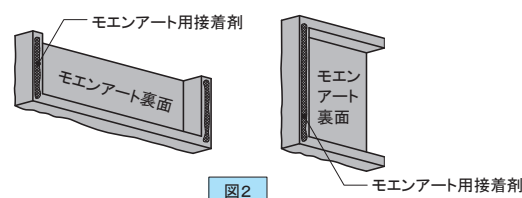
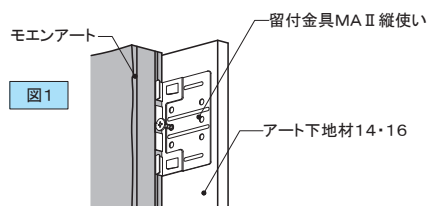
## 1-11 切断について

### 1) 切断方法・小口処理

- モエンアートの切断は、アート用カッター(JX210・JX310)またはダイヤモンドブレードソーを使用します。
- モエンアートの切断面は、必ず別売のアートペンを塗布します。アートペンの使用可能時間は、二液混合後3~4時間程度です。この時間を超えて使用しないでください。(アートペンセットは、柄ごとに指定しています。)

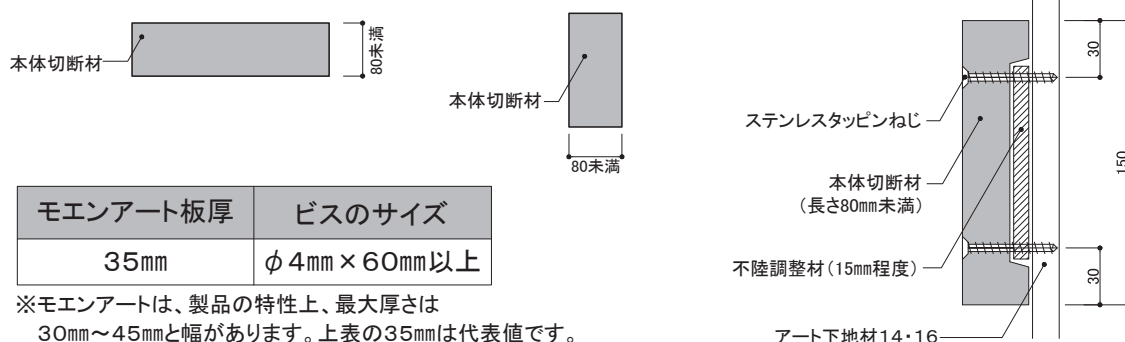
### 2) モエンアート用接着剤の塗布位置・方法

- 開口部、軒天部、オーバーハング部の部位は、**留付金具MAⅡ (JE602)を縦使いし、モエンアート用接着剤 (JE7500R)を併用**します。(図1、2参照)
- 縦使いした金具と通常の留付位置の金具が干渉しないよう位置をずらして留め付けます。(図3参照)
- ボーダー材、入隅材、本体切断材(開口部まわり・軒天部・オーバーハング部・下屋根部)は**留付金具MAⅡ (JE602)とモエンアート用接着剤 (JE7500R)を併用**します。(図2参照)
- モエンアート用接着剤(JE7500R)は、基本的に縦方向に直径8mm程度のビード状に塗布します。(図2参照)



### 3) 小幅材の留付方法

- 本体切断材が幅または長さ方向80mm未満の切り物となる場合、または下屋根部流れ側下端の三角形の切り物を施工する場合は、**ステンスタッピンねじと接着剤で留め付け補強**します。
- ステンスタッピンねじを留め付ける際は、あらかじめ先孔( $\phi 3.5$ mm程度)を明け、座掘りしてから留め付けます。
- ステンスタッピンねじの留付位置は、モエンアート端部から30mm程度内側とし、幅方向または長さ方向に2本留めします。なお、モエンアート裏面の裏抜き部にはベニヤ・合板など15mm前後の不陸調整材を取り付けます。(調整する材質は保持力が得られるものを使用します。スペーサーなどでは保持力が得られず脱落する可能性がありますので使用しないでください。また、モエンアート裏面の裏抜き部の寸法は材によって多少のばらつきがあります。個々で調整しながら施工します。)
- ビス頭は補修用パテおよびアートペンで補修します。



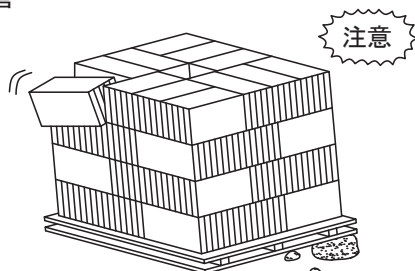
モエンアート板厚	ビスのサイズ
35mm	$\phi 4$ mm $\times$ 60mm以上

※モエンアートは、製品の特性上、最大厚さは30mm~45mmと幅があります。上表の35mmは代表値です。アートの厚みに応じて、長いビスを使用します。

# 1 モエンアート標準施工法

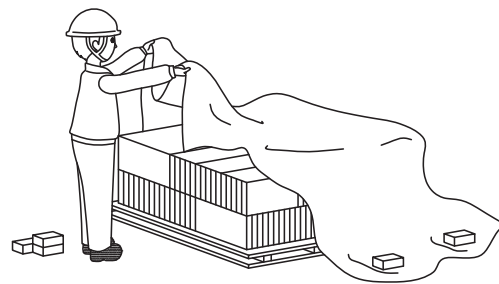
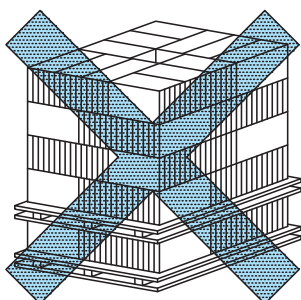
## 1-12 保管・取り扱い・運搬上の注意事項

### 1) 保管



- 保管時は、水平な場所に、パレットまたは飼い木の上に置きます。

- 施工現場では数量の少ないパレットを下に置かないでください。  
※ 割れや破損の原因となる可能性があります。



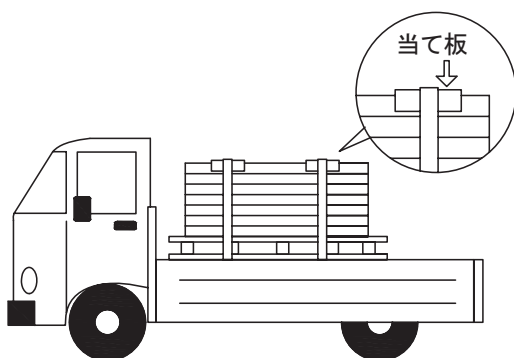
- 施工現場などでは必ず防水用のシートをかけて保管します。
- モエンアートは地面に直接置かず、水に濡らさないように保管します。  
※ 製品を積み重ねた状態で水に濡れるとシミになるおそれがあります。  
※ 濡れたモエンアートに補修塗装や接着処理を行うと塗膜剥離や接着剤切れを起こすおそれがあります。
- 開梱後は製品どうしを直接積み重ねないでください。塗膜表面に傷がつくおそれがあります。

### 2) 取り扱い



- モエンアートの持ち運びは、割れ防止のため静かに運んでください。
- 物にあてる、落とすなどしてモエンアートの角・表面などを損傷しないように注意します。
- 汚れた手(手袋)で触らないようにします。
- 持ち運び時は、周囲・足下などに注意します。

### 3) 運搬



- 車両などで運搬する際は、汚れ・雨濡れに注意してください。
- 急ブレーキなどによる損傷を防ぐため、角に当て板などをしてワイヤーなどで固定します。
- 吊り上げる時はモエンアートの損傷を防ぐため、当て板などで養生を行います。
- 積み下ろしの際にモエンアートの角・表面などを損傷しないように注意します。



**注意** 保管・取り扱い方法を間違えると、経年で不具合が発生するおそれがあります。その場合は免責となりますのでご注意ください。

## 1-13 各部の納まり詳細図

木造軸組下地

アート専用金具

1)基本構成図・下地組図	
2)土台部	通気土台水切＋アートスターター02
3)上下接合部	
4)左右接合部	
5)腰壁部	アート見切縁35
6)入隅部	
7)出隅部	出隅材
8)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
9)軒天部	①アート見切縁35 ②突き付け
10)オーバーハング部	オーバーハング水切
11)下屋根部	①棟側 ②流れ側

本章は、基本的な納まり例を記載していますので、注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。



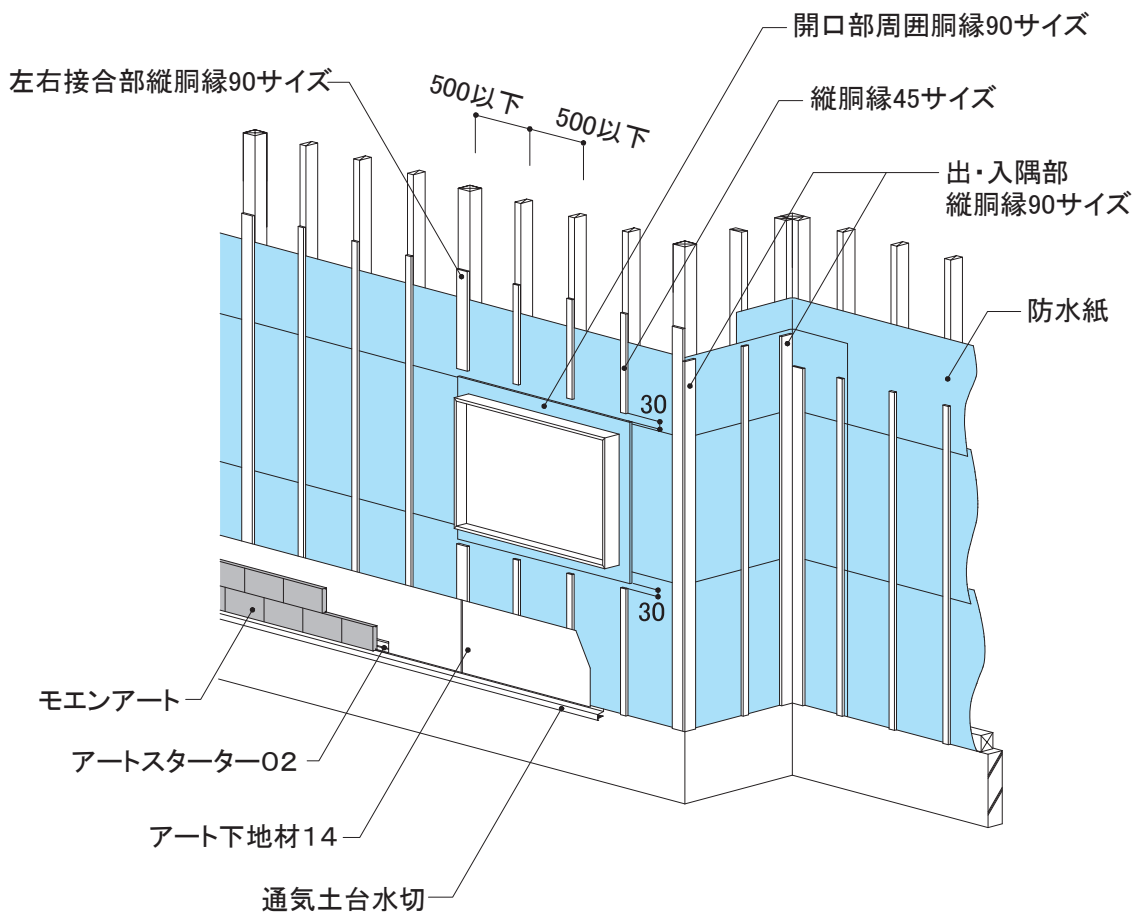
# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 1) 基本構成図・下地組図

- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18mm以上、ベイツガ材は厚み15mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や左右接合部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm以上を使用します。
- 木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ4mm×50mm以上のビスを使用して500mm以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸(段差)が3mm以下となるように調整して施工します。
- 縦胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。



図はモエンアート35mm品です。

### 注意 施工時の注意点

出隅部や入隅部を先行して張り上げてしまうと、後からモエンアートを差し込むことは不可能です。1段を施工した後、次の段を施工し始めるようにします。





# モエンアート

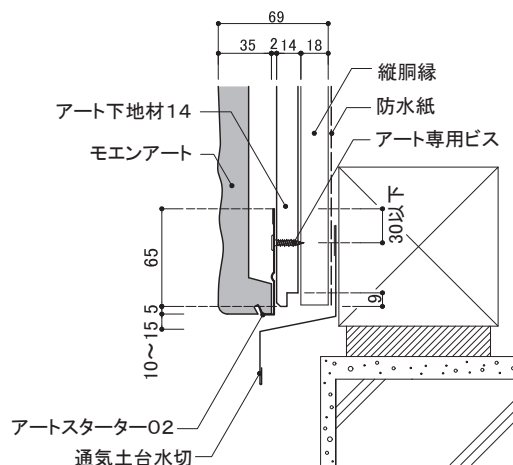
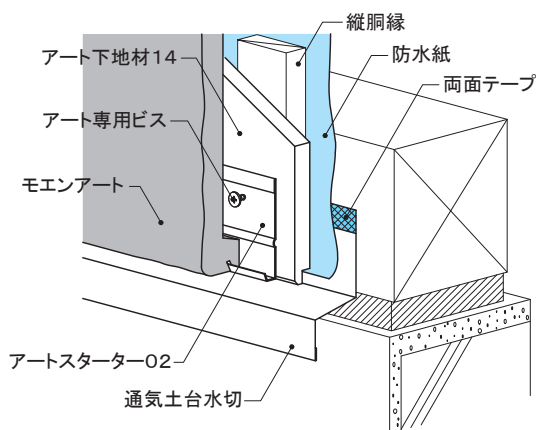
アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 2) 土台部

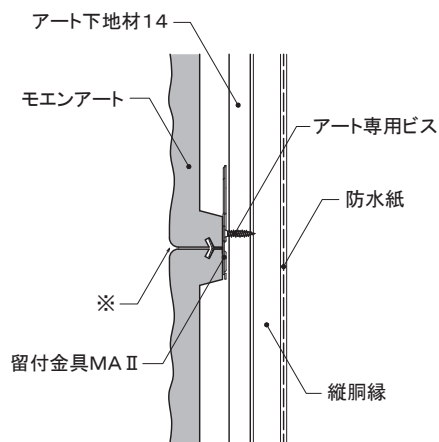
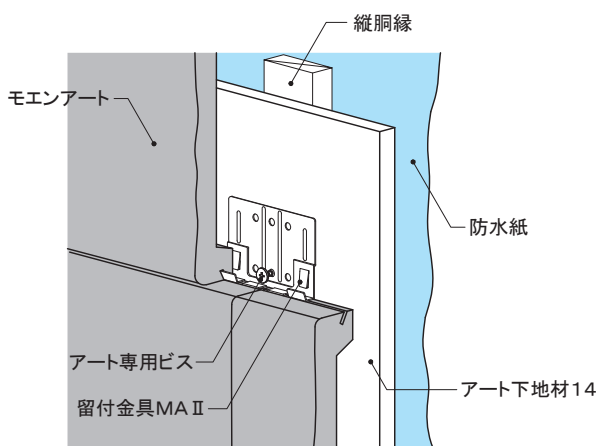
## 通気土台水切＋アートスターター02

- 通気土台水切は、土台に500mm以下の間隔でモエン用釘などを用いて水平に取り付けます。
- 土台部のアートスターター02はアート専用ビスを用い、縦胴縁がある箇所に500mm以下の間隔で留め付けます。
- アートスターター02の留め付けは、ビス留めが標準です。専用ビス以外を使用しないでください。
- モエンアート下端と通気土台水切の間は、10～15mm程度の隙間を設けます。



## 3) 上下接合部

- モエンアート実部に留付金具MAⅡを確実に納め、アート専用ビスで留め付けます。



※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

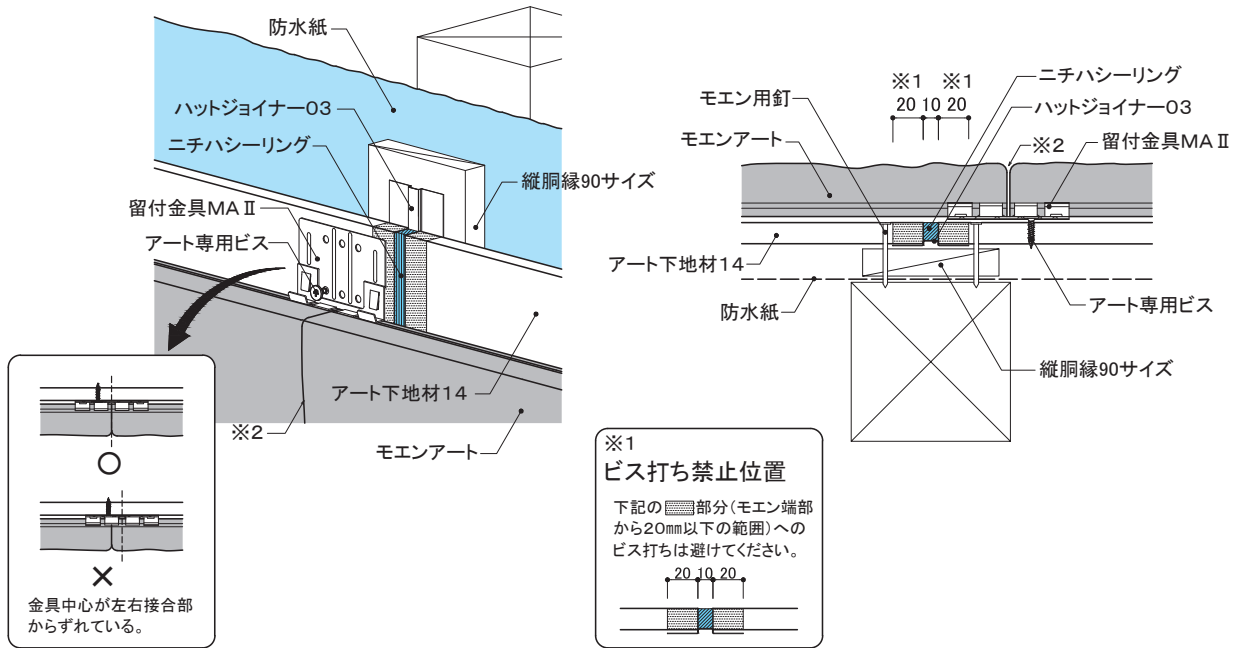
# モエンアート

(アート35mm品) (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 4) 左右接合部

- モエンアートの左右接合部は突き付けて施工します。金具はモエンアート上辺の隣り合う本体どうしを股がけして取り付けます。金具中心がモエンアートの左右接合部からずれないようにします。
- アート下地材14の左右接合部には、ハットジョイナー03を取り付けます。

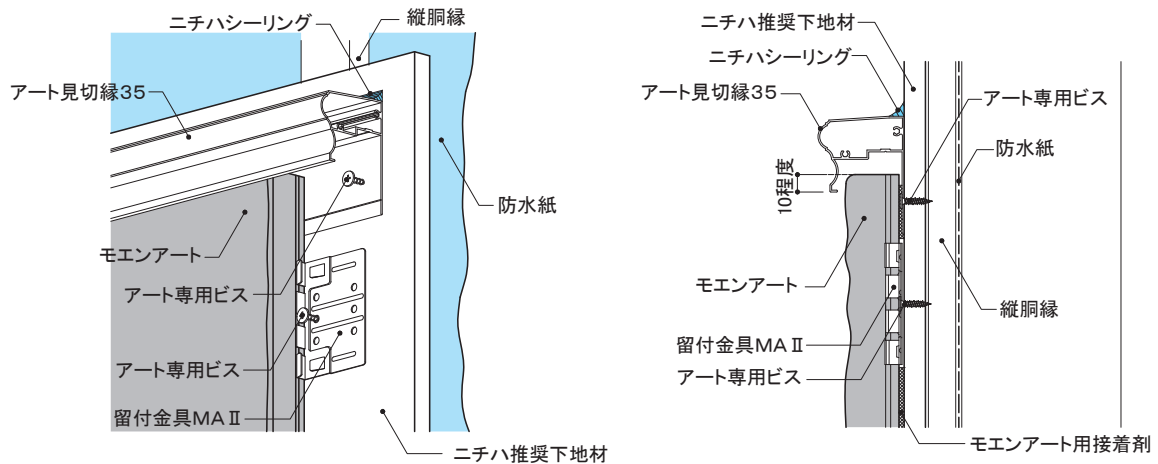


※2 施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

## 5) 腰壁部

アート見切縁35  
(ニチハ推奨下地材を使用する場合のみ)

- モエンアートを軒天まで施工せず腰壁部分まで施工する場合は、アート見切縁35を図のように10mm程度かぶりを設けて施工し、留付金具MA IIを縦使います。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

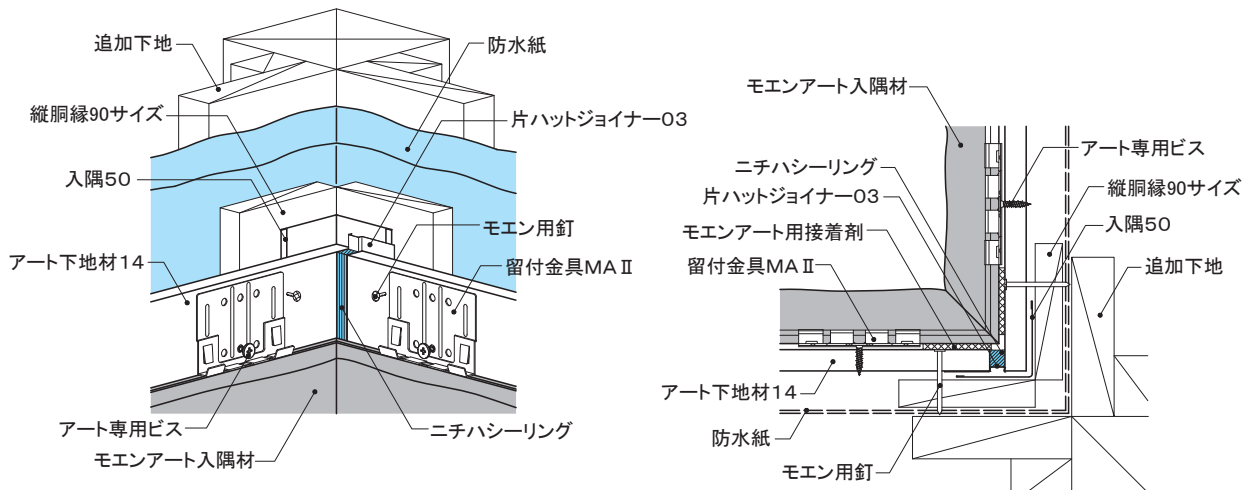
# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 6) 入隅部

- 入隅部は胴縁の留付下地として、必ず追加下地を入れます。
- 入隅部はモエンアート入隅材を突き付けて施工します。
- 入隅部に留付金具MA IIを追加して取り付けます。
- モエンアート入隅材の裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。

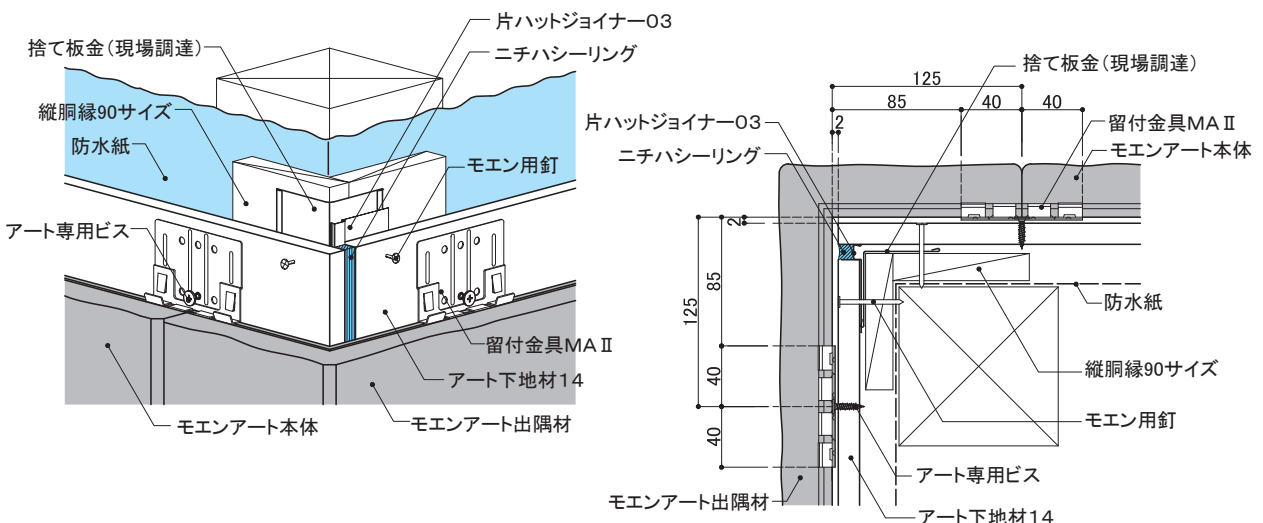


**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

## 7) 出隅部

## 出隅材

- モエンアートの出隅材と本体の取り合い部は、突き付けて施工します。
  - 出隅材上辺は長辺および短辺側を隣り合う面材と股がけになるよう留付金具MA IIを入れます。さらに長辺側は短辺側と同じ位置(内寸125mm程度)に留付金具MA IIを入れます。
- ※ 出隅材を先行して張り上げないでください。モエンアートがしっかりと金具で固定されるよう隣り合う面材とともに1段ずつ施工します。



**下地材小口** アート下地材のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、再度塗布します。

# モエンアート

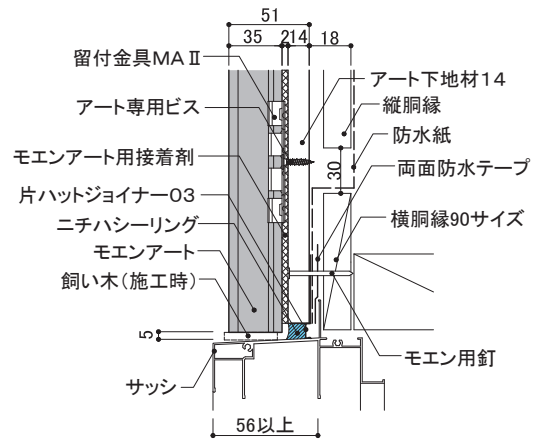
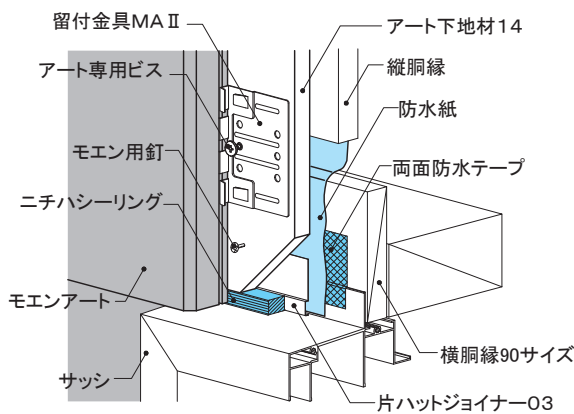
アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 8) 開口部

## ① 上側

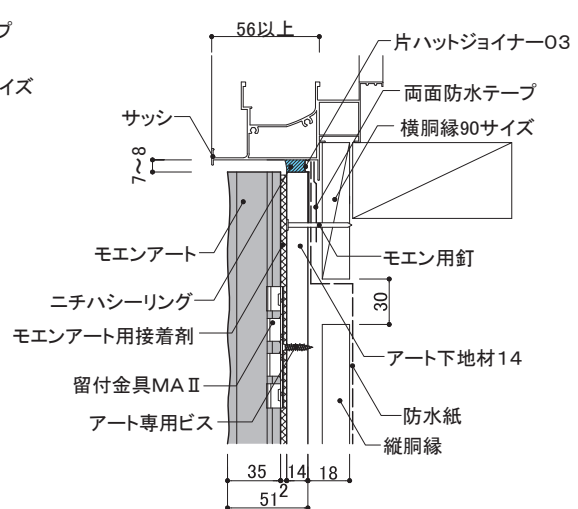
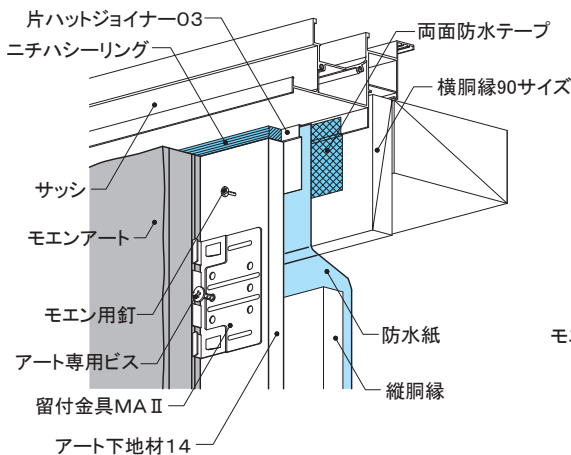
- サッシは開口部まわりの胴縁組み施工後に取り付け、外壁面より前に出るようにします。サッシの出が足りない場合は、さらに額縁などを取り付けます。
- モエンアートとサッシの取り合い部は5mm程度の隙間を設けて施工し、図のように留付金具MA IIを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。
- モエンアート用接着剤が硬化するまで必要に応じて飼い木をし、モエンアートが下方にずれないようにします。
- モエンアート用接着剤の硬化時間はおよそ24時間です。



## 8) 開口部

## ② 下側

- サッシは開口部まわりの胴縁組み施工後に取り付け、外壁面より前に出るようにします。サッシの出が足りない場合は、さらに額縁などを取り付けます。
- モエンアートとサッシの取り合い部は7~8mm程度の隙間を設けて施工し、図のように留付金具MA IIを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地  
木造軸組下地

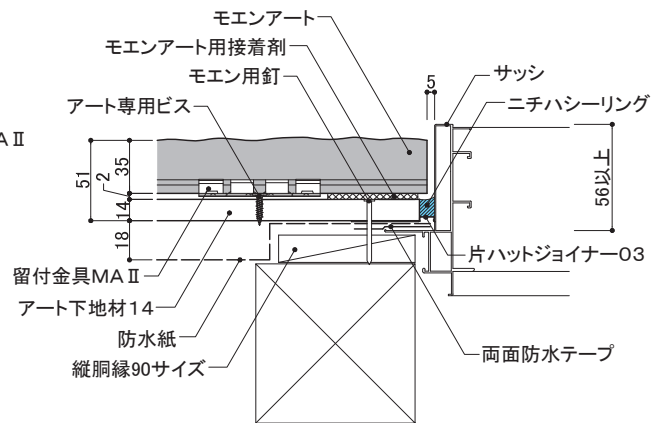
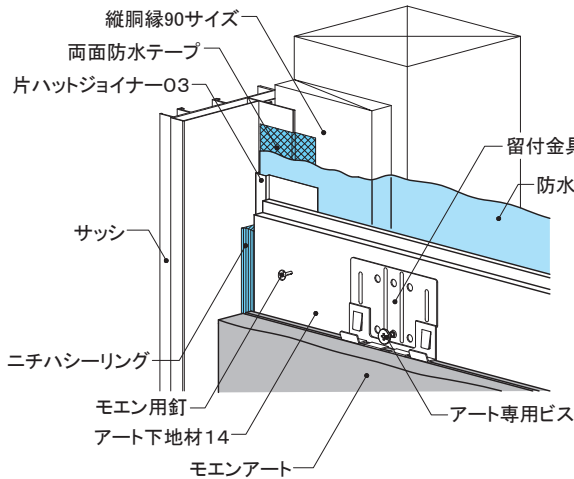
留付方法  
アート  
専用金具

張り方向  
横

## 8) 開口部

## ③ 左右側

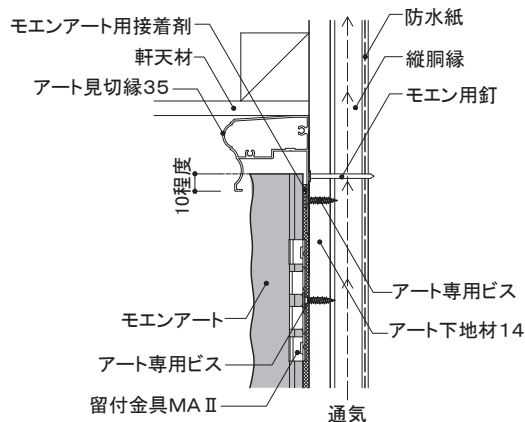
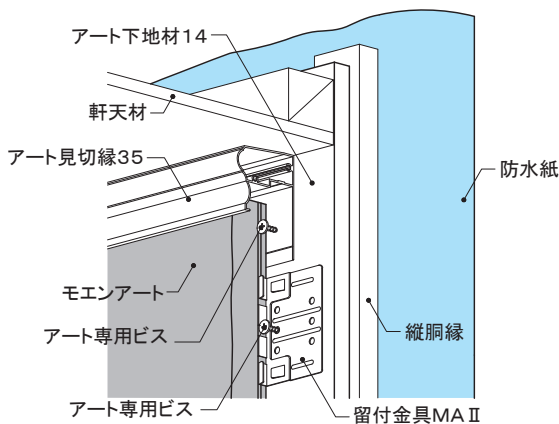
- サッシは開口部まわりの胴縁組み施工後に取り付け、外壁面より前に出るようにします。サッシの出が足りない場合は、さらに額縁などを取り付けます。
- モエンアートとサッシの取り合い部は、5mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



## 9) 軒天部

## ① アート見切縁35

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りりと胴縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天部のモエンアートは図のように留付金具MA IIを縦使いで固定します。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



モエンアート小口 モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

# モエンアート

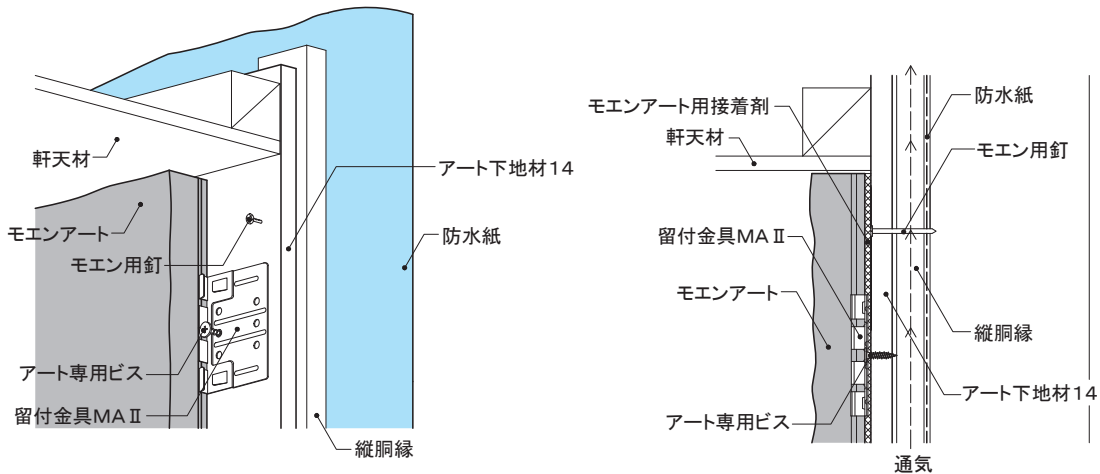
(アート35mm品) (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 9) 軒天部

## ②突き付け

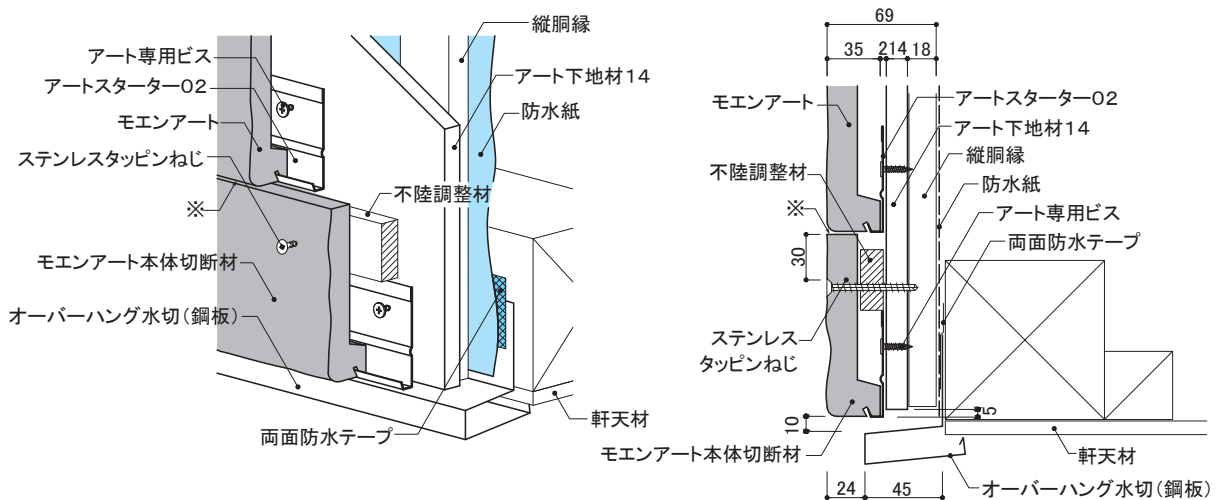
- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りと同縁下地組みは軒天工事前に施工します。
- 軒天部のモエンアートは、図のように留付金具MA IIを縦使いして固定します。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



## 10) オーバーハング部

## オーバーハング水切

- モエンアートとオーバーハング水切の取り合い部は、10mm程度の隙間を設けます。
- アートスターター02は、水平に充分留意してアート専用ビスを用い、縦胴縁がある部分に500mm以下の間隔で留め付けます。
- アートスターター02の留め付けはビス留めが標準です。アート専用ビス以外は使用しないでください。
- 本体切断材を施工する場合は、ステンスタッピンねじとモエンアート用接着剤で留め付け補強します。
- 専用ビスを留め付ける際は、小幅材の留付方法をご参照ください。



※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンで十分塗布します。

**下地材小口** アート下地材のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、再度塗布します。



# モエンアート

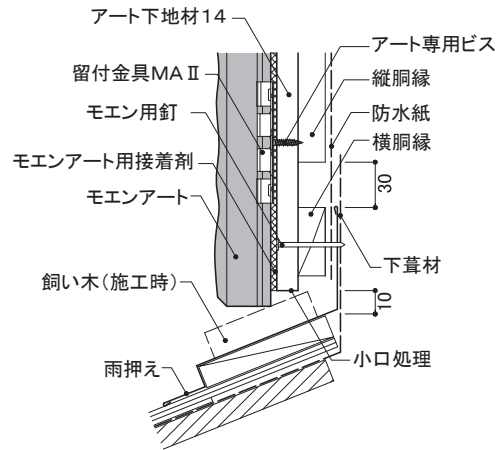
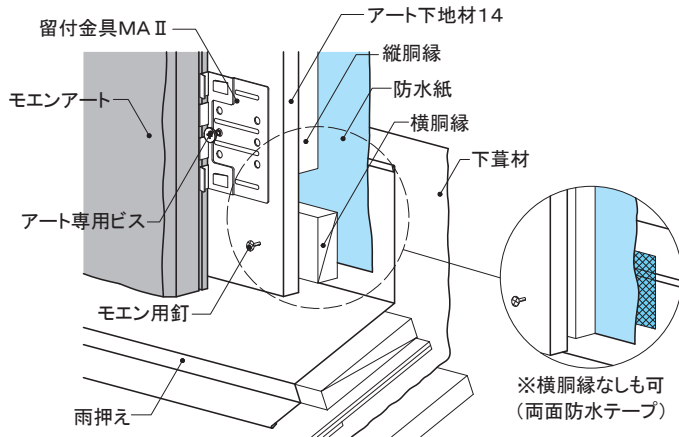
アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
木造軸組下地	アート専用金具	横

## 11) 下屋根部

### ①棟側

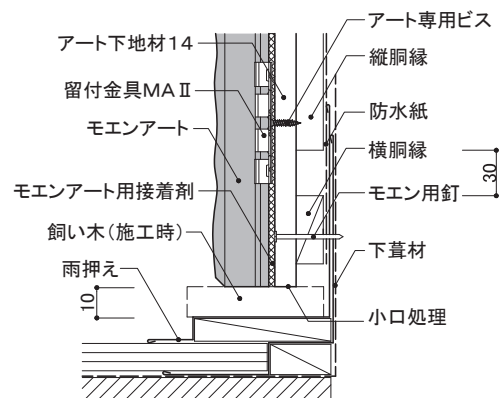
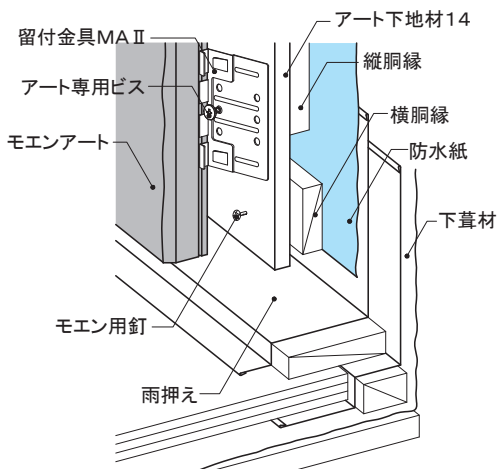
- アート下地材と雨押えの間に10mm程度の隙間を設けて施工し、留付金具MA IIを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。
- モエンアート用接着剤が硬化するまで必要に応じて飼い木をし、モエンアートが下方にずれないようにします。
- モエンアート用接着剤の硬化時間はおよそ24時間です。



## 11) 下屋根部

### ②流れ側

- アート下地材と雨押えの間に10mm程度の隙間を設けて施工し、留付金具MA IIを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。
- モエンアート用接着剤が硬化するまで必要に応じて飼い木をし、モエンアートが下方にずれないようにします。
- モエンアート用接着剤の硬化時間はおよそ24時間です。



**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

**下地材小口** アート下地材のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、再度塗布します。

## 1-14 各部の納まり詳細図

鉄骨下地

アート専用金具

1)基本構成図・下地組図	
2)土台部	通気土台水切+アートスターター02
3)上下接合部	
4)左右接合部	
5)腰壁部	アート見切縁35
6)入隅部	
7)出隅部	出隅材
8)開口部	①上側 ②下側 ③左右側
9)軒天部	①アート見切縁35 ②突き付け
10)オーバーハング部	オーバーハング水切
11)下屋根部	①棟側 ②流れ側

本章は、基本的な納まり例を記載していますので、注意事項、禁止事項をご理解いただいたうえで施工してください。



# モエンアート35mm

(アート35mm品) (マスターシリーズ)

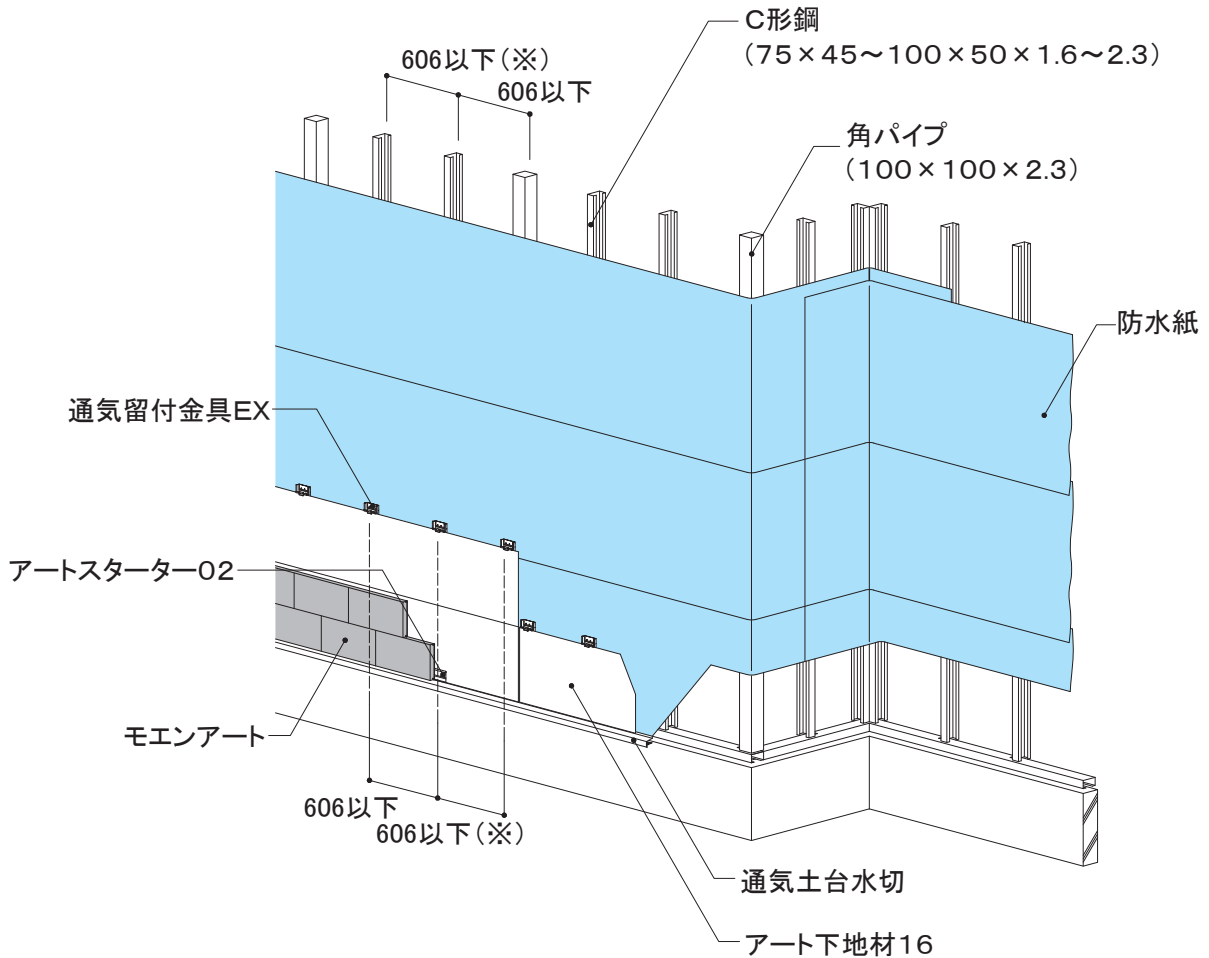
下地  
鉄骨下地

留付方法  
アート  
専用金具

張り方向  
横

## 1) 基本構成図・下地組図

- 通気土台水切は防水紙張りの前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
  - C形鋼は75×45mm～100×50mm、厚み1.6～2.3mmを606mm以下の間隔で組みます。(※)
  - C形鋼は柱・梁などに直接溶接しないでください。受けアングル(ねこ)を柱・梁に溶接し、C形鋼は受けアングルにボルト留めします。
  - 出隅部、入隅部、左右接合部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルにするなど、金具が留め付けられるようにします。
- ※1時間準耐火構造(QF060BE-9225)が必要な場合は@606mm以下となります。また、準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2.3mmとします。



図はモエンアート35mm品です。

### 注意 施工時の注意点

出隅部や入隅部を先行して張り上げてしまうと、後からモエンアートを差し込むことは不可能です。1段を施工した後、次の段を施工し始めるようにします。



# モエンアート

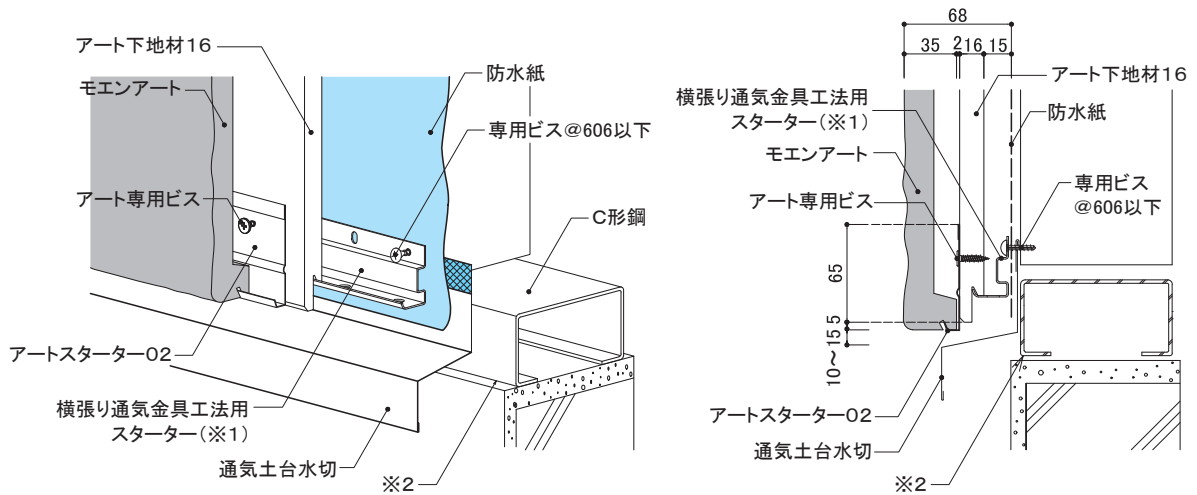
(アート35mm品) (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
鉄骨下地	アート専用金具	横

## 2) 土台部

## 通気土台水切+アートスターター-02

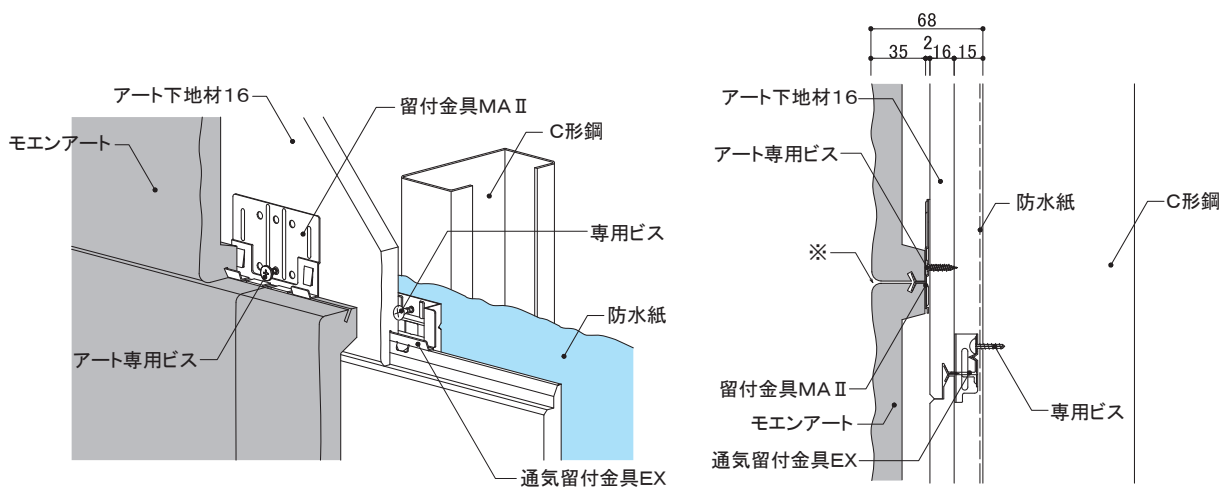
- 通気土台水切は必ず水平に取り付けます。
- 土台部のアートスターター-02はアート専用ビスを用い、300mm以下の間隔で留め付けます。
- アートスターター-02の留め付けはビス留めが標準です。アート専用ビス以外を使用しないでください。
- モエンアート下端と通気土台水切の間は、10mm程度の隙間を設けます。



※1 土台部のC形鋼と縦下地のC形鋼との隙間に留意し、土台水切およびスターターの位置を調整してください。  
 ※2 吹き上げなどによる雨水浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

## 3) 上下接合部

- モエンアート実部に留付金具MA IIを確実に納め、アート専用ビスで留め付けます。



※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

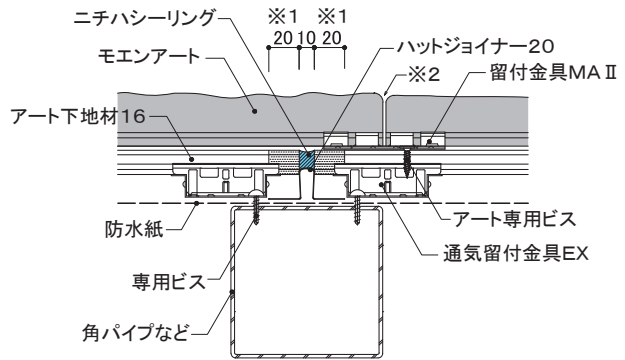
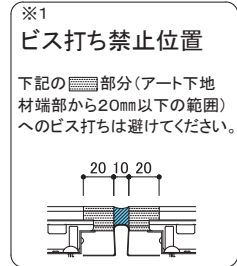
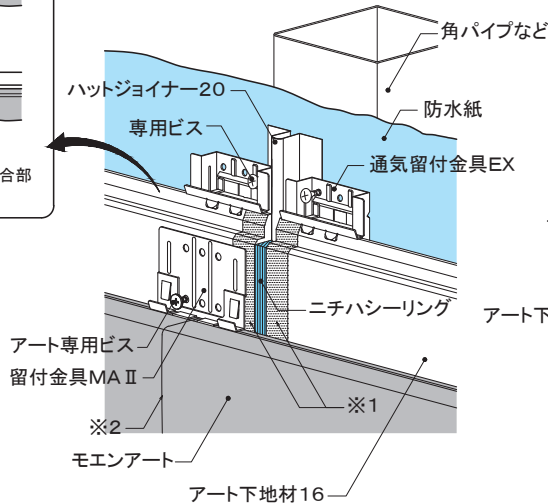
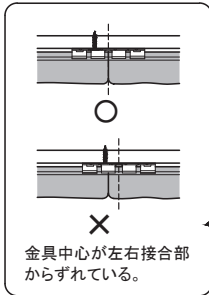
下地  
鉄骨下地

留付方法  
アート  
専用金具

張り方向  
横

## 4) 左右接合部

- モエンアートの左右接合部は突き付けて施工します。金具はモエンアート上辺の隣り合う本体どうしを股がけで取り付けます。金具中心がモエンアートの左右接合部からずれないようにします。
- アート下地材16の左右接合部には、ハットジョイナー20を取り付けます。

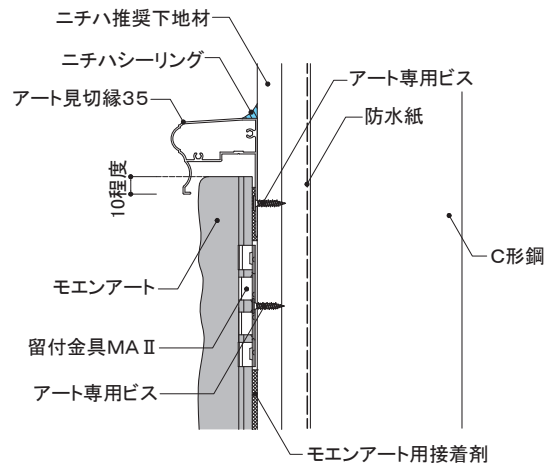
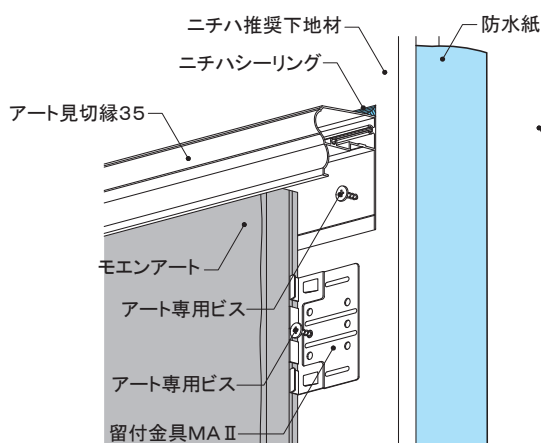


※2 施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。

## 5) 腰壁部

アート見切縁35  
(ニチハ推奨下地材を使用する場合のみ)

- モエンアートを軒天まで施工せず腰壁部分まで施工する場合は、アート見切縁35を図のように10mm程度かぶりを設けて施工し、留付金具MA IIを縦使います。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



モエンアート小口 モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

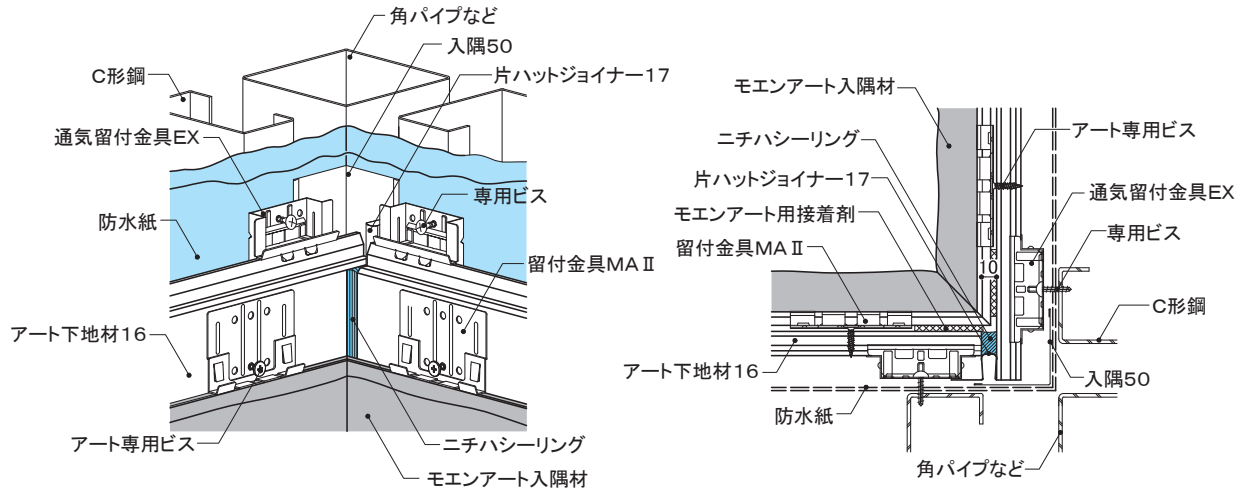
# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
鉄骨下地	アート専用金具	横

## 6) 入隅部

- 入隅部は金具類の留付下地として、必ずC形鋼(追加下地)を入れます。
- 入隅部はモエンアート入隅材を突き付けて施工します。
- 入隅部に留付金具MA IIを追加して取り付けます。
- モエンアート入隅材の裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。

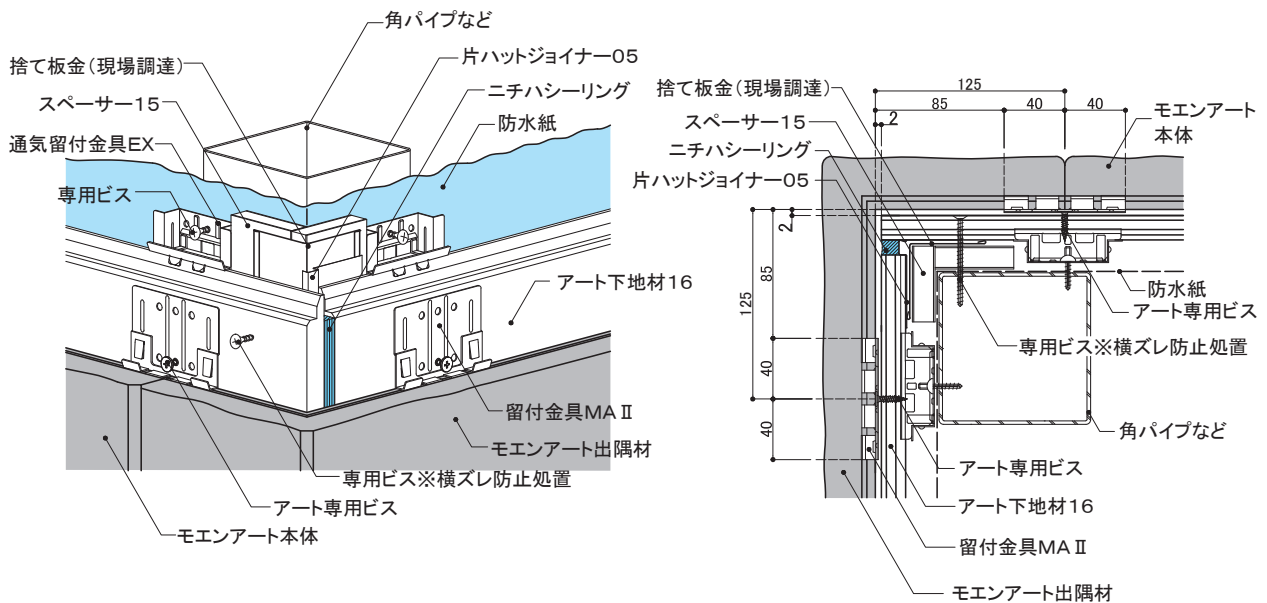


**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

## 7) 出隅部

## 出隅材

- モエンアートの出隅材と本体の取り合い部は、突き付けて施工します。
  - 出隅材上辺は長辺および短辺側を隣り合う面材と股がけになるよう留付金具MA IIを入れます。さらに長辺側は短辺側と同じ位置(内寸125mm程度)に留付金具MA IIを入れます。
- ※出隅材を先行して張り上げないでください。モエンアートがしっかりと金具で固定されるよう隣り合う面材とともに1段ずつ施工します。



**下地材小口** アート下地材のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、再度塗布します。

# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地  
鉄骨下地

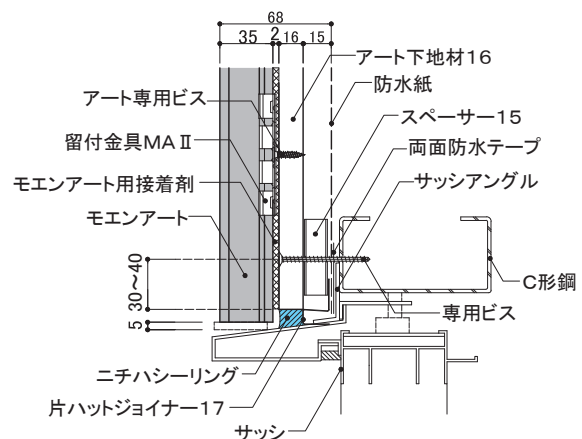
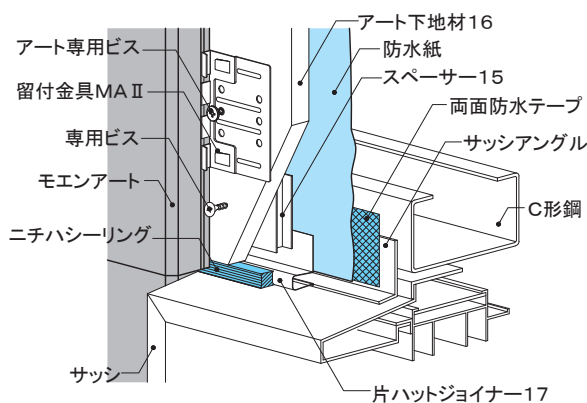
留付方法  
アート  
専用金具

張り方向  
横

## 8) 開口部

### ① 上側

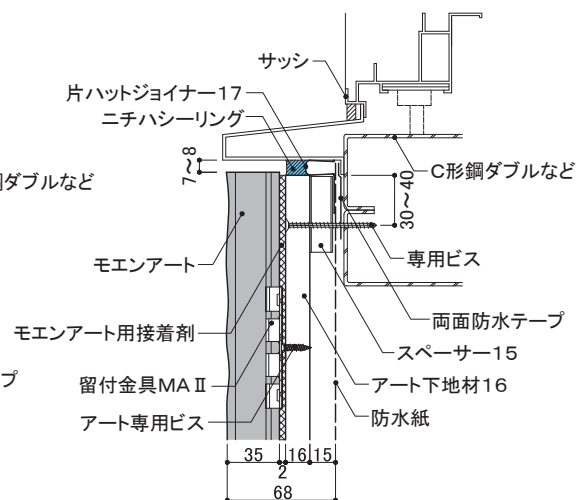
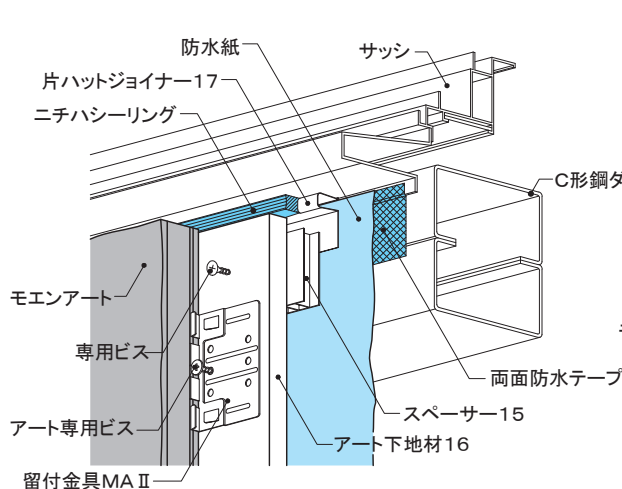
- サッシは外壁面より前に出るようにします。サッシの出が足りない場合は、さらに額縁などを取り付けます。
- モエンアートとサッシの取り合い部は5mm程度の隙間を設けて施工し、図のように留付金具MA IIを縦使います。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。
- モエンアート用接着剤が硬化するまで必要に応じて飼い木をし、モエンアートが下方にずれないようにします。
- モエンアート用接着剤の硬化時間はおよそ24時間です。



## 8) 開口部

### ② 下側

- サッシは外壁面より前に出るようにします。サッシの出が足りない場合は、さらに額縁などを取り付けます。
- モエンアートとサッシの取り合い部は7~8mm程度の隙間を設けて施工し、留付金具MA IIを縦使います。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



モエンアート小口 モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

# モエンアート

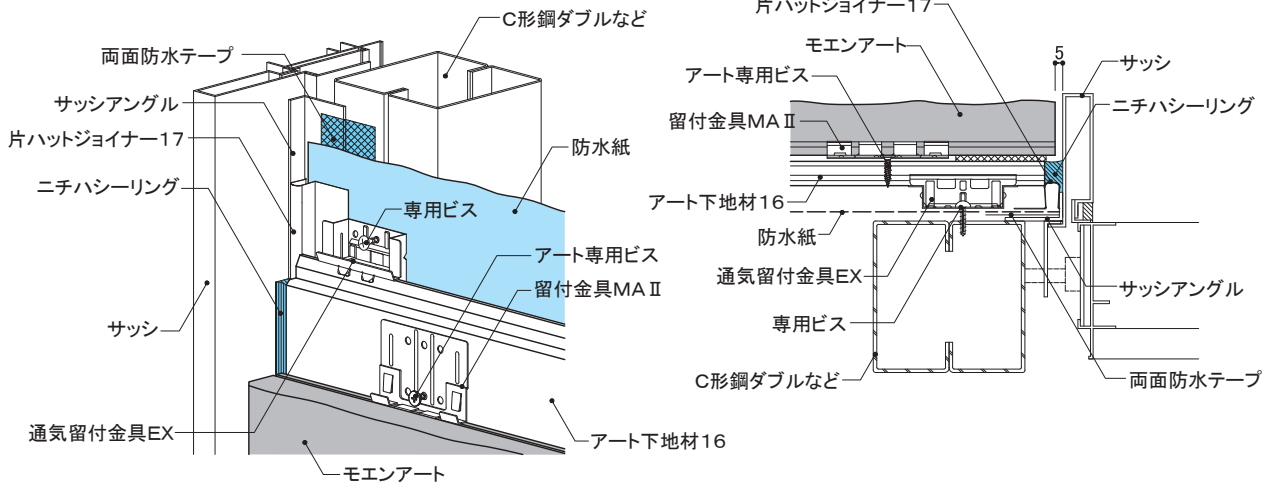
(アート35mm品) (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
鉄骨下地	アート専用金具	横

## 8) 開口部

## ③左右側

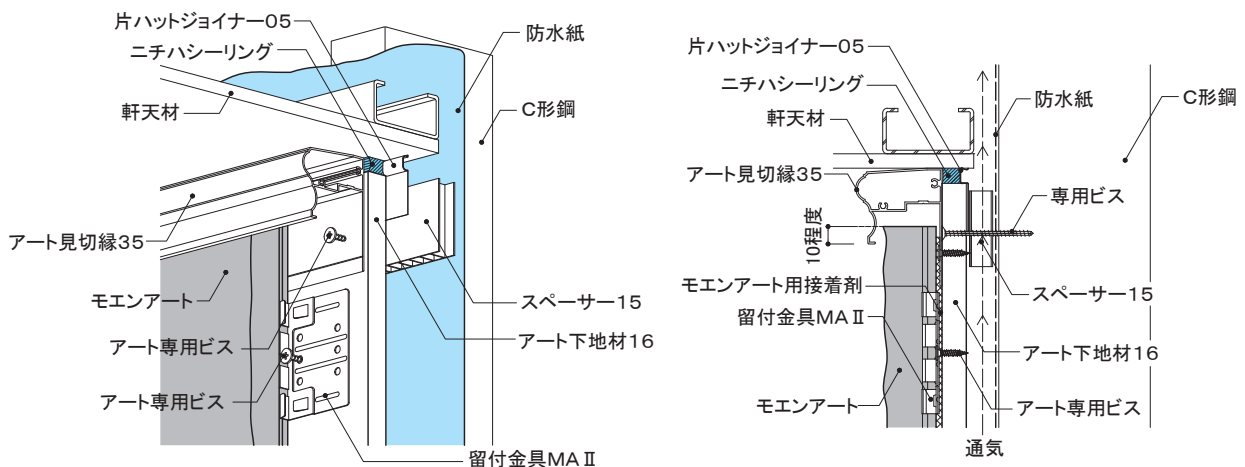
- サッシは外壁面より前に出るようにします。サッシの出が足りない場合は、さらに額縁などを取り付けます。
- モエンアートとサッシの取り合い部は、5mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



## 9) 軒天部

## ①アート見切縁35

- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りトスペーサー15の取り付けは軒天工事前に施工します。
- 軒天部のモエンアートは図のように留付金具MA IIを縦使います。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。



# モエンアート

アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地  
鉄骨下地

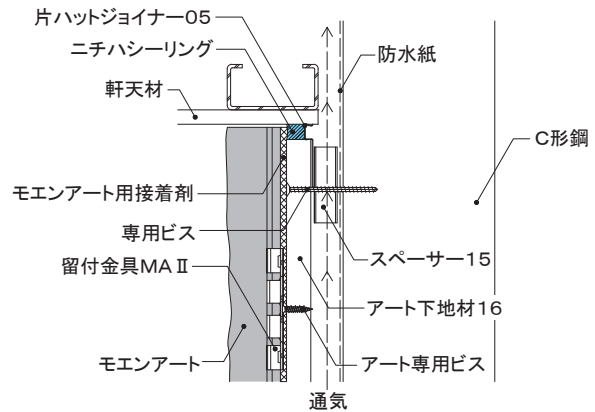
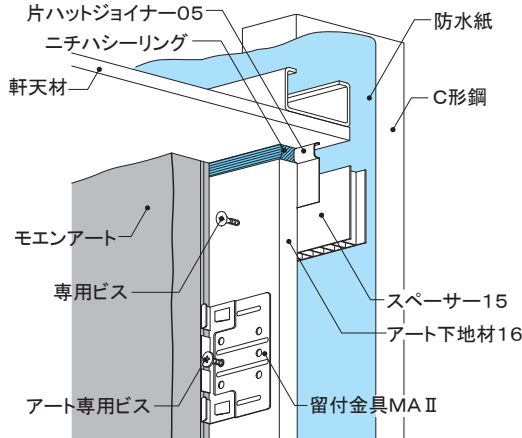
留付方法  
アート  
専用金具

張り方向  
横

## 9) 軒天部

## ②突き付け

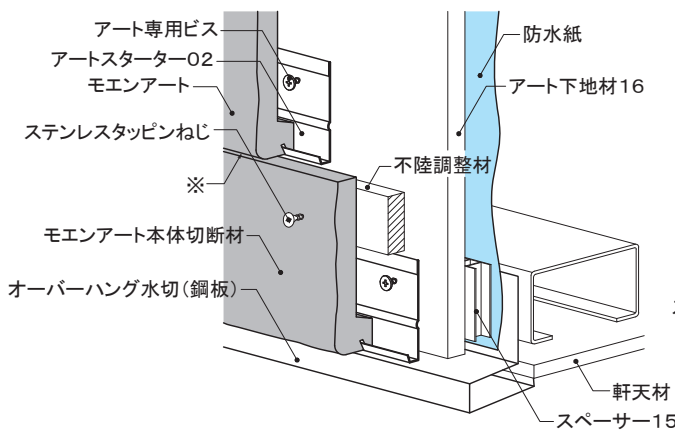
- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張りとしペーサー15の取り付けは軒天工事前に施工します。
- 軒天部のモエンアートは図のように留付金具MA IIを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。



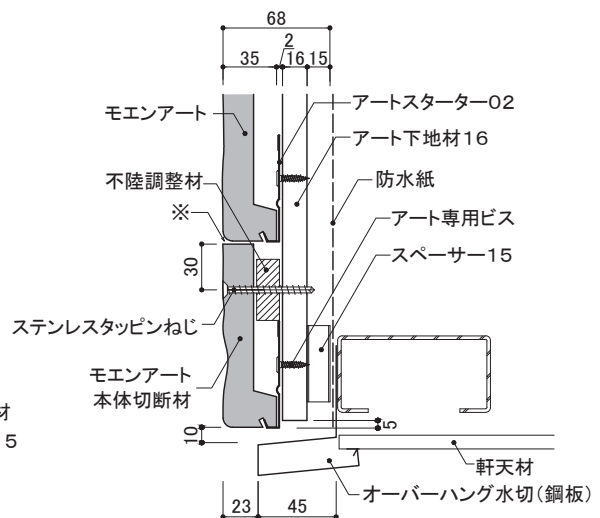
## 10) オーバーハング部

## オーバーハング水切

- モエンアートとオーバーハング水切の取り合い部は、10mm程度の隙間を設けます。
- アートスターター02は、水平に充分留意してアート専用ビスを用い、300mm以下の間隔でアート下地材16に留め付けます。
- アートスターター02の留め付けはビス留めが標準です。アート専用ビス以外は使用しないでください。
- 本体切断材を施工する場合は、ステンスタッピンねじとモエンアート用接着剤で留め付け補強します。
- 小幅材を留め付ける際は、小幅材の留付方法をご参照ください。



※施工時に隙間が生じる場合がありますが、本体性能および止水性能には問題ありません。



**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンを十分塗布します。

**下地材小口** アート下地材のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、再度塗布します。

# モエンアート

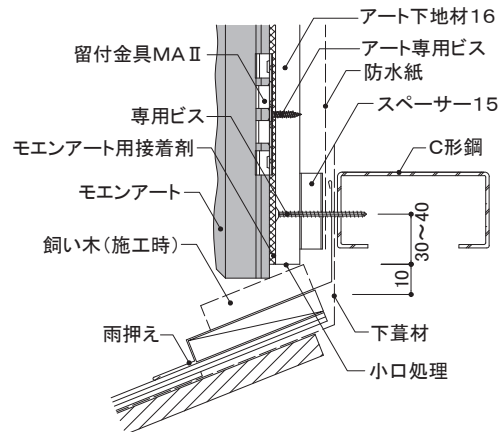
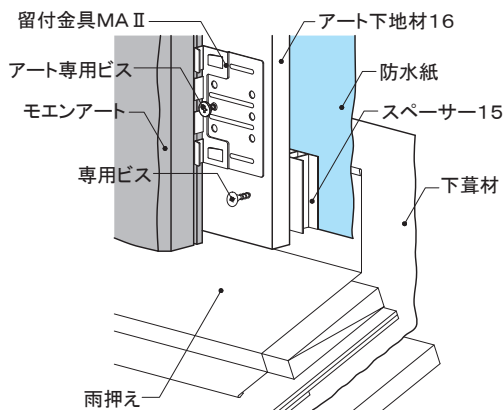
アート35mm品 (マスターシリーズ)

下地	留付方法	張り方向
鉄骨下地	アート専用金具	横

## 11) 下屋根部

### ①棟側

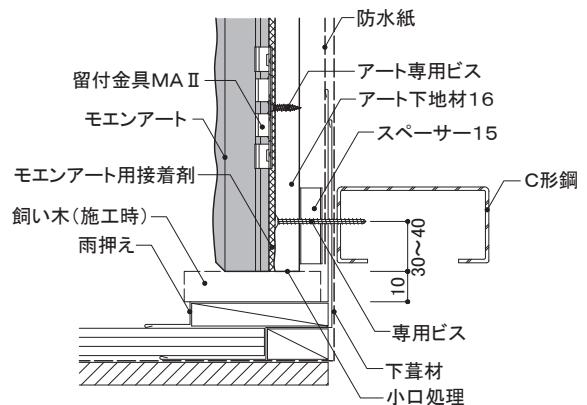
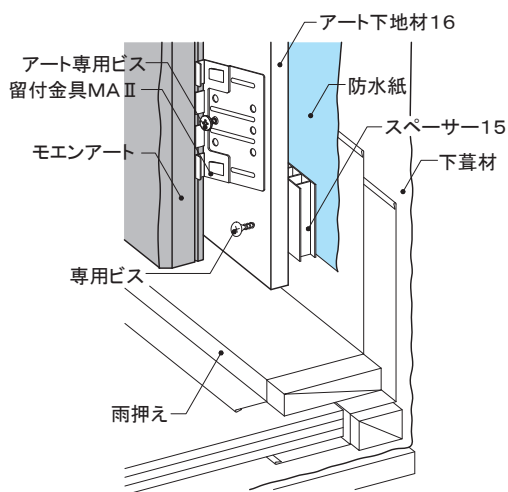
- アート下地材と雨押えの間に10mm程度の隙間を設けて施工し、留付金具MAⅡを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。
- モエンアート用接着剤が硬化するまで必要に応じて飼い木をし、モエンアートが下方にずれないようにします。
- モエンアート用接着剤の硬化時間はおおよそ24時間です。



## 11) 下屋根部

### ②流れ側

- アート下地材と雨押えの間に10mm程度の隙間を設けて施工し、留付金具MAⅡを縦使いします。
- モエンアートの裏面に、あらかじめモエンアート用接着剤を直径8mm程度のビード状に塗布します。
- モエンアート用接着剤が硬化するまで必要に応じて飼い木をし、モエンアートが下方にずれないようにします。
- モエンアート用接着剤の硬化時間はおおよそ24時間です。



**モエンアート小口** モエンアート本体の切断面は、アートペンで十分塗布します。

**下地材小口** アート下地材のシーリングをしない切断面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、再度塗布します。